SHARP

インターネット液晶ファクシミリ

取扱説明書

形名 UX-W31CL（ユーエックス ダブル シー エル）
UX-W31CW（ユーエックス ダブル シー ダブル）

かんたんもくじ

やりたいこと別の一覧があります。
7〜10ページをご覧ください。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

技術基準適合品

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

⚠**危険** 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

⚠**警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠**注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

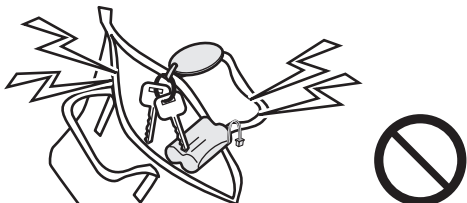
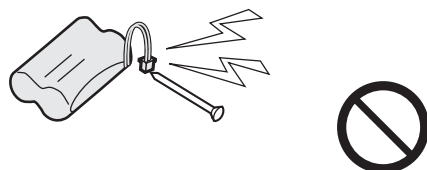
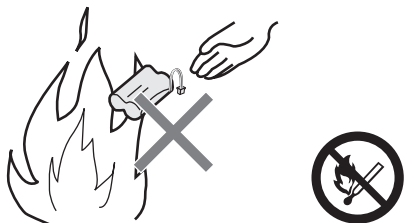
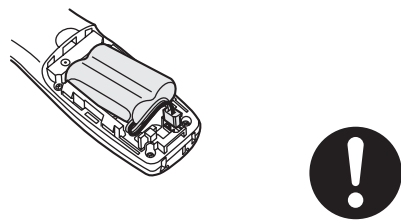
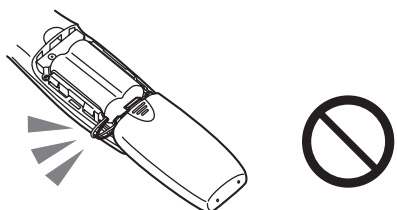
上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

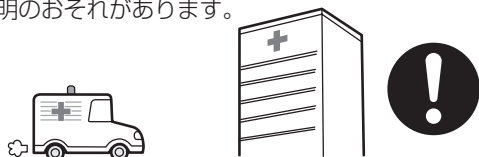
上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

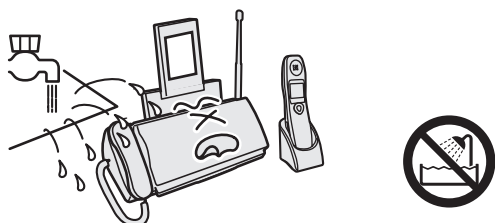
⚠危険

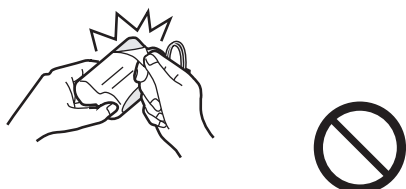
充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

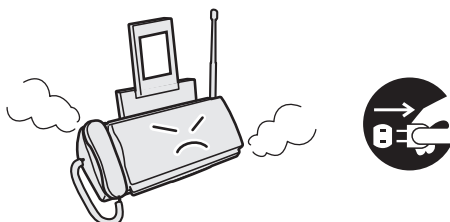
■充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。

■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。

■充電池は、専用のものを使用してください。

■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

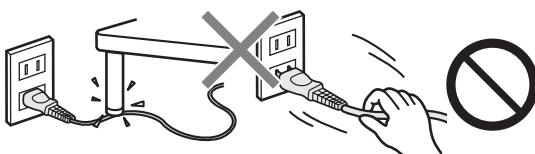
失明のおそれがあります。

⚠警告

■**水や薬品などの液体をこぼさないでください。**
火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

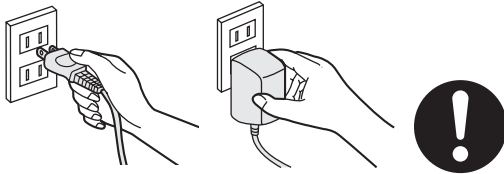
■**浴そうなど、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。**
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

■**ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。**
火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。

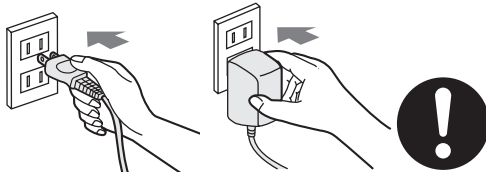
■**充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。**
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

■**内部に金属物を入れないでください。**
火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

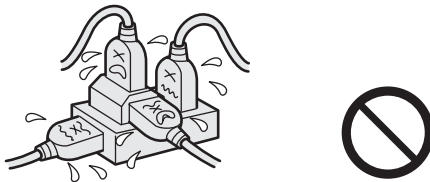
■**煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。**
火災・感電の原因になります。差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■**この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。**
けがの原因になります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

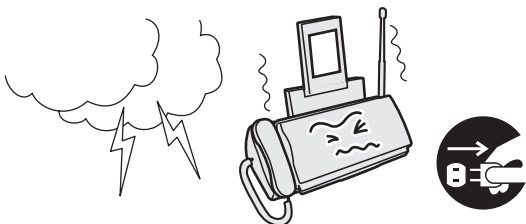
■**電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。**
次のようなことはしないでください。
・傷つける
・加工する
・熱器具に近づける
・無理に引っ張る
・無理に曲げる
・無理にねじる
・重い物を載せる
・束ねる
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。
コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

⚠警告

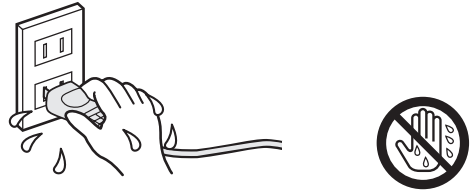
■差し込みプラグやACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。

感電の原因になります。

■差し込みプラグやACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。

感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。

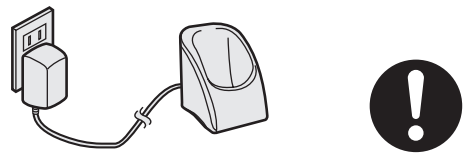
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

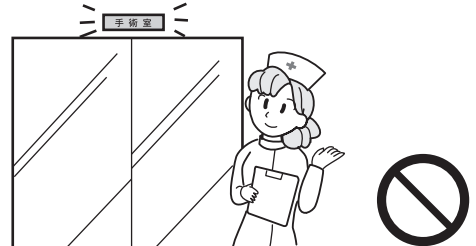
火災・感電・故障の原因になります。

■ぬれた手で差し込みプラグやACアダプターの抜き差しはしないでください。

感電の原因になります。

■この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流100V）に接続してください。

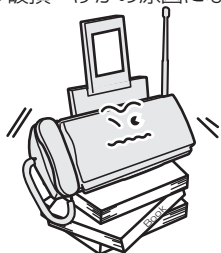
海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

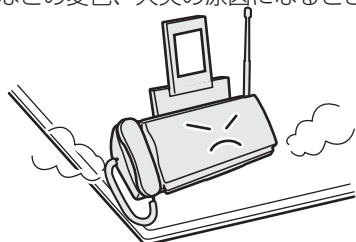
■子機を充電するときは、専用の充電器、ACアダプターを使用してください。

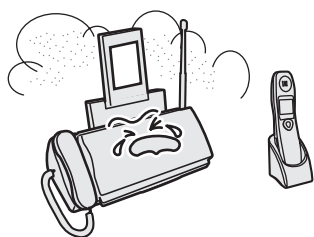
指定以外のものを使用すると、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因になります。

■医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

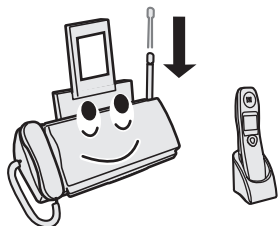
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠注意

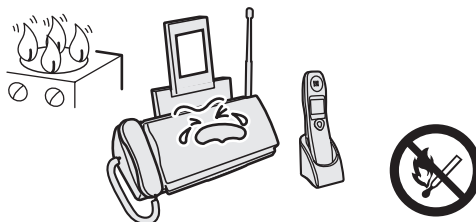
■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。

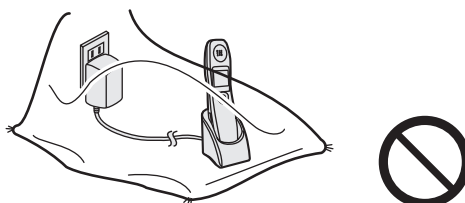
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。

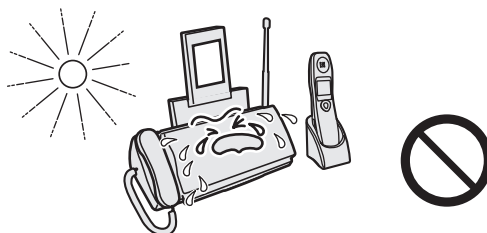
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。

火災・感電・故障の原因になることがあります。

■この製品を移動するときは、アンテナをたたんで、差し込みプラグ・電話機コード・ACアダプターを抜いてください。

事故の原因になることがあります。

■火気や熱器具に近づけないでください。

変形や故障、火災の原因になることがあります。

■充電器やACアダプターを布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■暑い場所や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。

35℃以上、5℃以下では、誤動作・変形・故障の原因になります。

■万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

○アース線を取り付けられるところ
　電源コンセントのアース端子
　銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
　設置工事（D種）が行われている接地端子

○アース線を取り付けてはいけないところ
　ガス管
　電話専用アース
　避雷針
　水道管や蛇口

⚠注意

■子機を壁にかけて使用するときは、充電器を確実に取り付けてください。

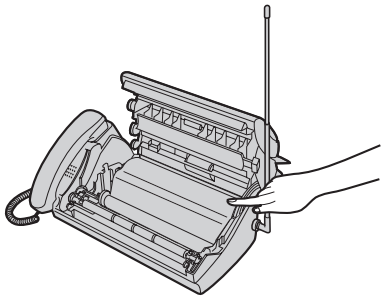
落下により、けがの原因になることがあります。

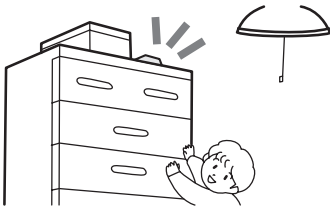
■カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。

けがの原因になることがあります。

■充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。

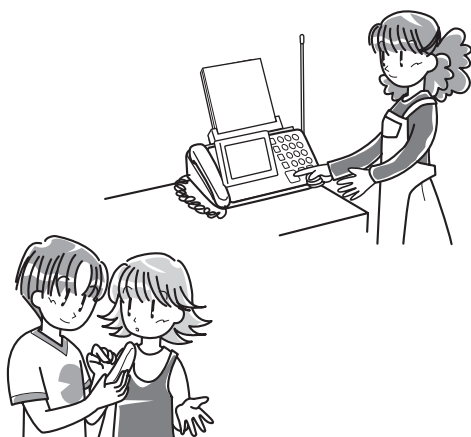
■手で直接記録ヘッドに触れないでください。

発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。

■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。

感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

かんたんもくじ

必要な機能をかんたんに、「やりたいこと」から探せます。
実際にお使いになる前に、「安全に正しくお使いいただくために」（☞2～6ページ）を、よくお読みください。

電話

よく使う相手先を登録したい

かんたんに電話をかけたい

電話を保留にしたい

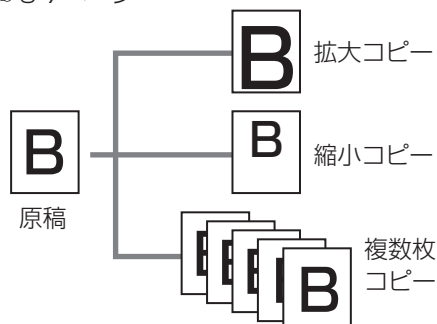
内線で通話したい

コピー

細かい文字原稿や写真をコピーしたい

●コピー／ファクスするときの画質を選ぶ
☞3-4〜3-5ページ

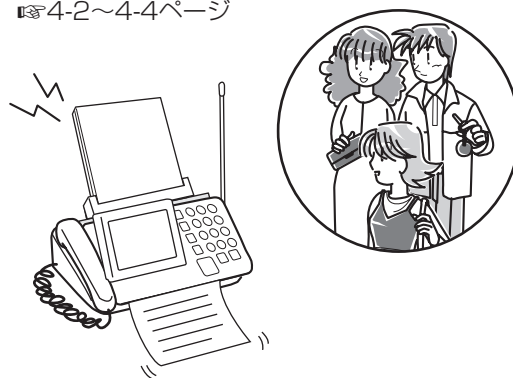
拡大、縮小、複数枚のコピーをしたい

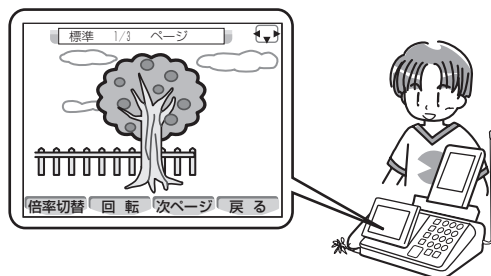
●拡大／縮小／複数枚コピーする
☞3-7ページ

ファクス

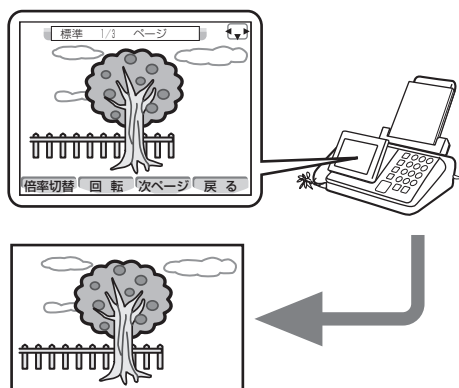
かんたんにファクスを送りたい

●見てからダイヤルで送る
☞3-14ページ
●電話帳ダイヤルや再ダイヤルで送る
親機　☞3-12〜3-13ページ
子機　☞3-15〜3-16ページ

留守中もファクスを受けられるようにしたい

●留守モード
☞4-2〜4-4ページ

受けたファクスを画面で見たい

●メモリー受信したファクスを画面で見る
（見てからプリント機能）
☞3-23〜3-27ページ

受けたファクスをプリントしたい

●メモリー受信したファクスをプリントする
☞3-28ページ

留守番電話

留守番電話を設定したい

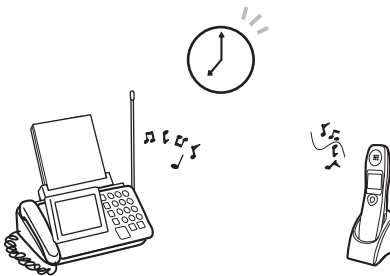
- 留守に設定する
  ☞4-2～4-4ページ
- 留守設定を解除する
  ☞4-5ページ

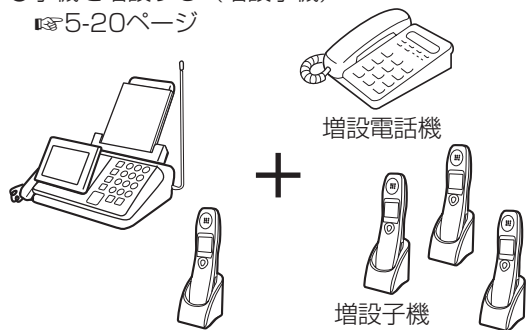
自分で応答メッセージを録音したい

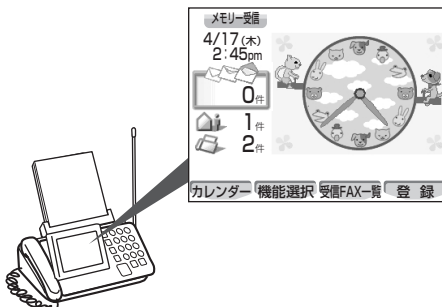
- オリジナル応答メッセージを録音する
  ☞4-9ページ

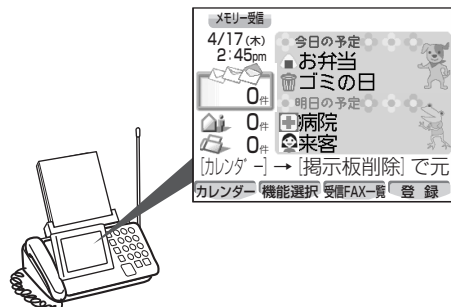
便利な機能

アラームや目覚ましとして使いたい

- 伝言アラームを利用する（親機）
  ☞5-6～5-7ページ
- モーニングコールを利用する（子機）
  ☞5-8ページ

電話機を増設したい

- 電話機を増設する（増設電話機）
  ☞5-21ページ
- 子機を増設する（増設子機）
  ☞5-20ページ

時計を画面に表示したい

- からくり時計を利用する（親機）
  ☞5-27～5-28ページ

カレンダーを使いたい

- カレンダー機能を利用する（親機）
  ☞5-29～5-30ページ

1 ご使用の前に
2 電話
3 コピー／ファクス
4 留守番電話
5 便利な機能
6 Lモード メール ブラウザ
7 ナンバー・ディスプレイ
8 こまったときは
9 ご参考に

Ｌモード

メールを使いたい

●メールを新しく作って送信する
☞6-24～6-26ページ

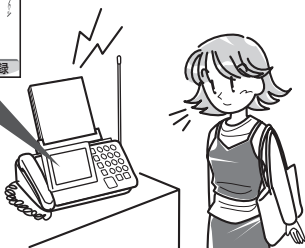
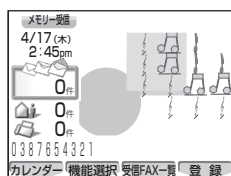
●メールを受信する／表示する
☞6-27～6-36ページ

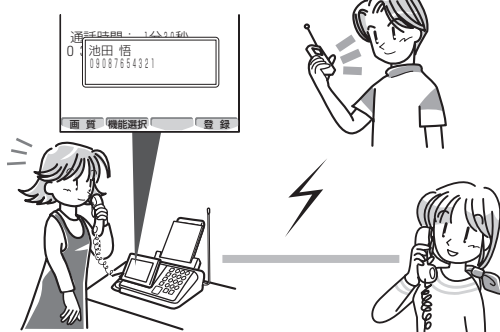
Ｌモードのサイト（番組）を見たい

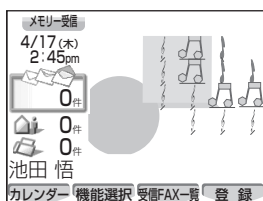
●サイト（番組）を表示する
☞6-54～6-55ページ

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを使いたい

●ナンバー・ディスプレイを利用する
☞7-2～7-5ページ

キャッチホン・ディスプレイを使いたい

●キャッチホン・ディスプレイを利用する
☞7-8～7-11ページ

ネーム・ディスプレイを使いたい

●ネーム・ディスプレイを利用する
☞7-6～7-7ページ

いたずら電話などを受けないようにしたい

●非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定する
☞7-23～7-25ページ

●お断りしたい番号を登録する
☞7-26～7-27ページ

もくじ

第1章　ご使用の前に

第2章　電話

TEL

第3章　コピー／ファクス

第4章　留守番電話

第5章　便利な機能

第6章　Ｌモード

第7章 ナンバー・ディスプレイ

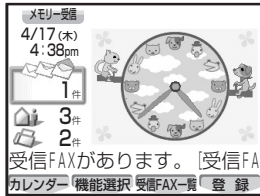
第8章　こまったときは

第9章　ご参考に

第1章
ご使用の前に

特長

大きな5型カラー液晶画面

大きな画面に文字も大きく表示します。カラー液晶なので見やすくなりました。
※カラーでファクスを送受信したり、コピーやプリントをすることはできません。

誰からメール機能
（☞6-37〜6-39ページ）

電話帳にメールアドレスが登録されている相手からのメール受信時は、名前を表示してお知らせします。また、そのうちの最大5件までは設定したアニメーションでお知らせします。

見てからプリント機能
（☞3-23〜3-27ページ）

メモリー受信したファクスの内容を画面に表示することができます。
※最初は「見てからプリント」ではなく、「メモリー受信」になっています。
「FAX受信方法を選ぶ」の設定で、「見てからプリント」に設定するとお使いになれます。（☞5-15ページ）

見てからダイヤル機能
（☞2-26〜2-28ページ）

電話帳の登録者に、簡単な操作で電話をかけたりファクスを送ることができます。

読上げボイスダイヤル機能
（☞2-2、3-8、5-5ページ）

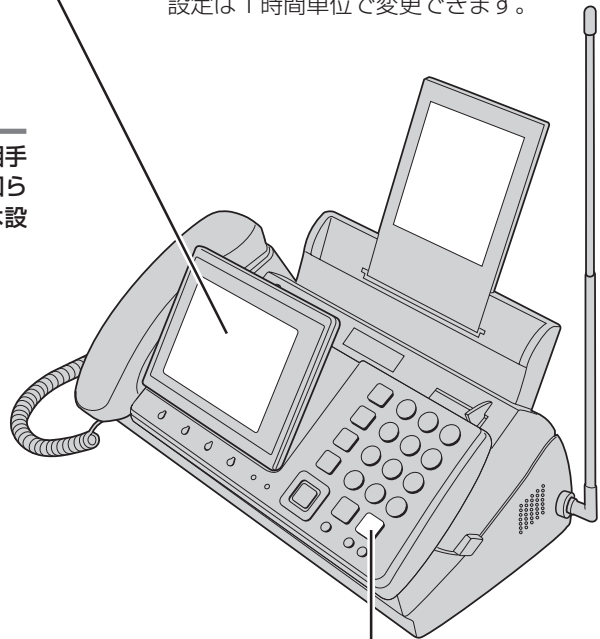
親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を、スピーカーの音声でお知らせします。番号を確認しながらダイヤルすることができ便利です。
（子機にはこの機能はありません。）

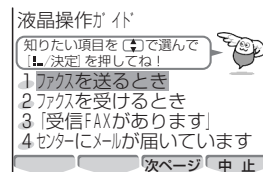
ロク!

カレンダー機能
（☞5-29〜5-30ページ）

カレンダーに1日2件までの予定を登録しておくことができます。（最大100件）。
予定を登録した日の前日と当日、液晶ディスプレイに表示してお知らせします。

からくり時計機能
（☞5-27〜5-28ページ）

決まった時刻（毎時0分）になると、液晶ディスプレイが点灯し、アニメーションを表示したり、メロディーを流すことができます。
※工場出荷時は7時から21時まで、からくり時計機能が動作する設定になっています。（7時から21時の毎時0分に「森のくまさん」のメロディーが流れ、アニメーションが表示されます。）動作させるかどうかの設定は1時間単位で変更できます。

操作ガイドボタン
（☞1-25〜1-26ページ）

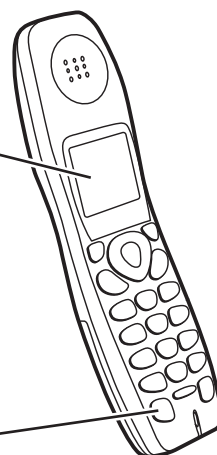
このボタンを押すと、ファクス送受信やLモード、エラーが起こったときの操作方法などを表示します。
液晶画面に表示されるガイドに従って、実際にファクスを送ることもできます。

液晶画面付コードレス子機

液晶画面に電話番号や名前（カナ）を表示。
子機の操作でファクスの送受信をすることもできます。

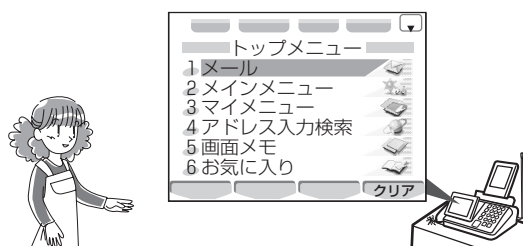
着信メロディー作曲機能
（☞5-9～5-14ページ）

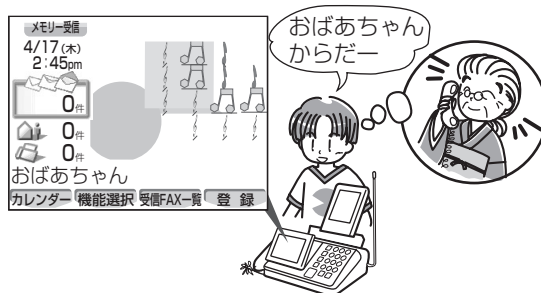
子機の呼出音は、自分で作ることもできます。

子機スピーカーホン
（☞2-7～2-8ページ）

子機を置いたままで、相手の方とお話しができます。

いろいろなサービスも利用できます

Lモード対応
（☞第6章　Lモード）

簡単な操作で、暮らしに役立つ情報を検索して見ることができます。
また、パソコンや携帯電話などとメールのやりとりもできます。
NTTとの加入契約と、月額基本料が必要です。（有料）

ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイ対応
（☞第7章　ナンバー・ディスプレイ）

電話に出る前やキャッチホンでかかってきた相手の方の番号を確認できます。また、親機はネーム・ディスプレイ対応ですので、番号と同時に相手の名前も確認できます。
NTTとの契約が必要です。（有料）

※ この製品には、当社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。

※ 本製品には、当社が独自に開発したアニメーション技術「E-アニメータ」を搭載しています。
本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

取扱説明書の見かた

タイトル
ページの操作や項目を表しています。

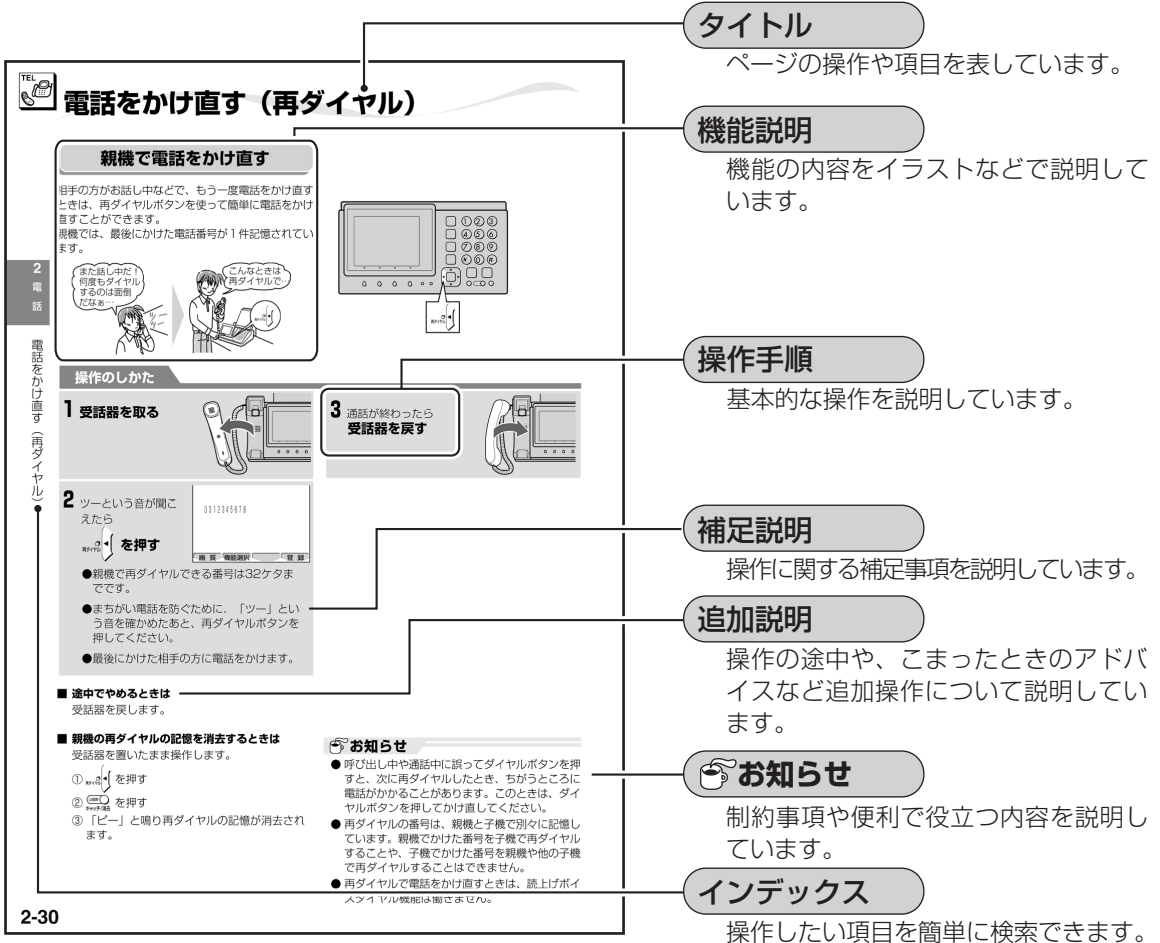
機能説明
機能の内容をイラストなどで説明しています。

操作手順
基本的な操作を説明しています。

補足説明
操作に関する補足事項を説明しています。

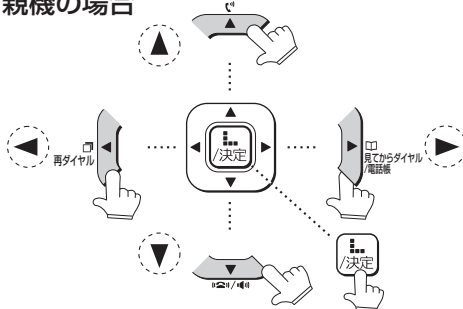
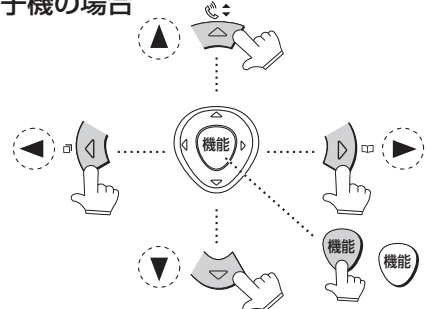
追加説明
操作の途中や、こまったときのアドバイスなど追加操作について説明しています。

お知らせ
制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。

インデックス
操作したい項目を簡単に検索できます。

操作手順でのボタンやマークの意味

取扱説明書内では次のように表記しています。

■ 画質 はソフトボタン（☞1-12ページ）です。ソフトボタンは操作によってボタン名が切り替わります。操作するときは ○ の部分を押してください。

■ ◀・▶・▲・▼ はマルチファンクションキーの4方向（左・右・上・下）を押す操作を示しています。L/決定 は親機のL/決定ボタン、機能 は子機の機能ボタンを押す操作を示しています。

付属品の確認

このたびは、「インターネット液晶ファクシミリ」をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

- 付属のお試し用インクリボンは、別売品のインクリボンに比べて長さが短くなっています。お早めに別売品のインクリボンを準備されるようおすすめします。
- お試し用のインクリボンがなくなったら、インクリボンのみを廃棄して別売のインクリボンに交換してください。ギヤ（緑色1個、白色1個）は廃棄しないでください。
- 充電器（子機用）の壁掛け用のネジは付属していません。壁に掛けてお使いのときは、市販のネジをお買い求めください。（☞1-23ページ）

取扱説明書	1冊	読み取り調整シート	1枚
かんたん操作ガイド	1部	通信テストシート	1枚
かんたん取り付けガイド	1部	保証書	1部
Lモードサービスのご案内・お申込ハガキ等	1式	シャープスペースタウン　for　Lモードご案内	1部

お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞9-35〜9-36ページ）
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

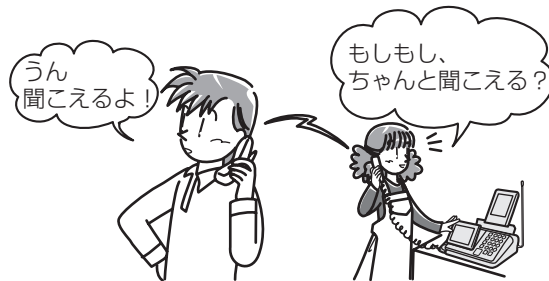
ご使用の前に知っていただきたいこと

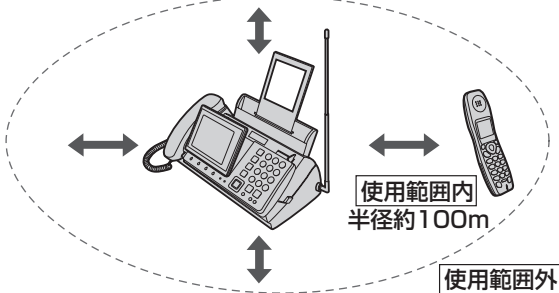
ご使用にあたってのお願い

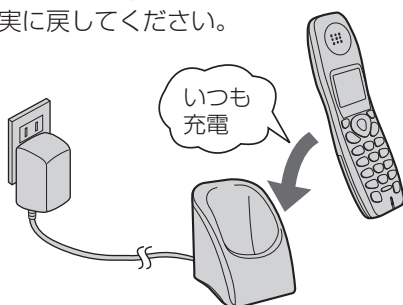
この製品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要**となります。
詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。

This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

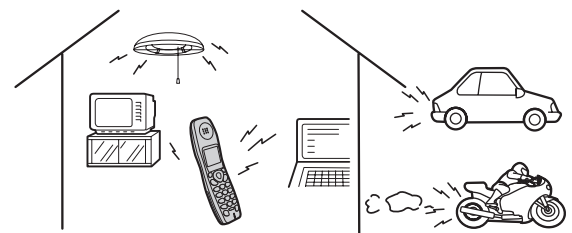
子機について

■ 使用範囲を確かめる

子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、半径約100mです。（直線見通し距離）
内線通話（☞2-32～2-33ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。

■ 子機はいつも充電器に戻しておく

子機は使わないときも、充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■ 親機と子機の間に障害物のある場所で使わない

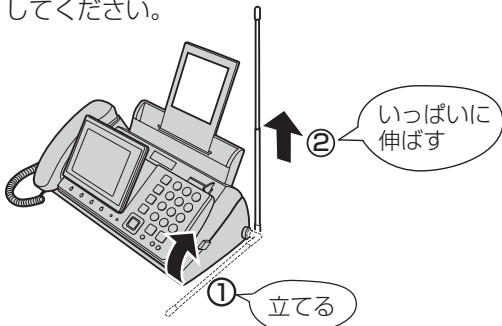
マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

■ 雑音が入ることがあります

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」したときなど、雑音が入ることがあります。

■ “傍受”にご注意ください

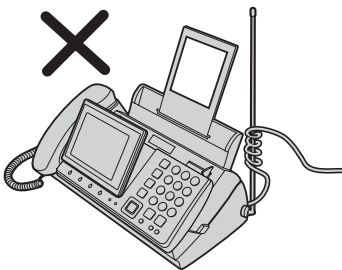
この商品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。
傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

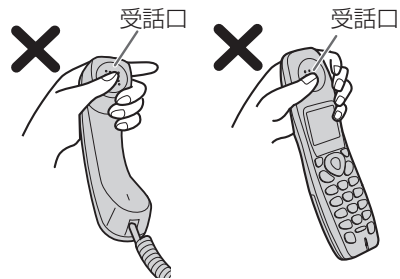
■ **親機のアンテナは立てて伸ばす**

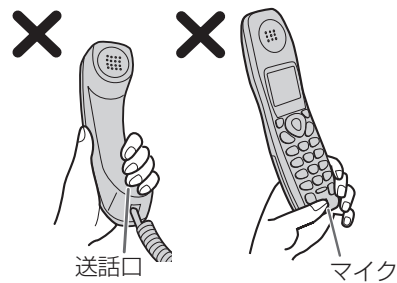
電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは必ず立てて伸ばしてください。

■ **子機の呼出音は、遅れて鳴ります**

電話がかかってくると、はじめに親機の呼出音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の呼出音も鳴ります。

■ **アンテナにコードを巻き付けない**

親機の電源コードや電話機コード、充電器のACアダプターケーブルをアンテナに巻き付けないでください。着信時に子機の呼出音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。

■ **受話口やスピーカーの穴をふさがない**

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ **送話口（マイク）をふさがない**

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ **取り扱いについて**

ご近所で子機が使われているときは、正しく動作しないことがあります。
こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ **子機や充電器を設置するときは**

親機や他の増設子機、PHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）
子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

内蔵のリチウム電池について

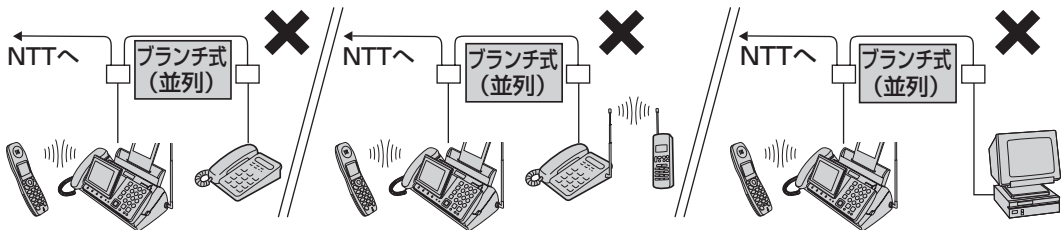
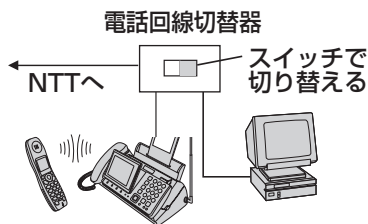
- 本体の時計はリチウム電池で動いています。
- リチウム電池の寿命は、連続的に電源コードを抜いた状態で、約５年間です。
- リチウム電池の交換は、お買いあげの販売店やシャープサービス窓口へご依頼ください。（有料）

この装置について

● この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

接続について

■ **ブランチ式（並列）に接続しない**

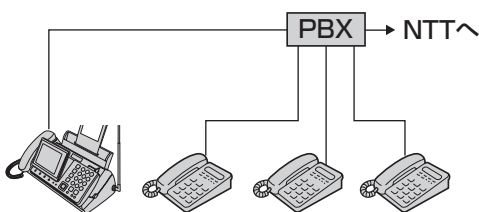
● 下図のように、一つの電話回線を2つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の呼出音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき電送速度が遅くなることがあります。

● パソコン等を接続する場合は、市販の電話回線切替器を接続すれば、一つの電話回線を切り替えて使用できます。

■ **構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへの接続について**

● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は工事が必要です。

● お使いになるホームテレホンや交換機などの機種によって接続方法が異なります。

● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、機種によってはLモード、ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を「使用しない」にしてお使いください。（☞7-3ページ）

● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えることができない場合があります。

構内交換機(PBX)の場合

● **ホームテレホンとは**

電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

● **ビジネスホンとは**

電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

各部の名前とはたらき（親機）

各部の名前

記録紙ホルダー
ここに記録紙をセットします。

原稿挿入口
ここに原稿をセットします。

原稿ガイド
原稿の幅に合わせます。

フックスイッチ

スピーカー
録音を再生しているときや、オンフックボタンを押して受話専用にしているときは、ここから聞こえます。

受話器

受話器コード

原稿排出口
原稿がここから出てきます。

記録紙ホッパー
セットした記録紙を支えます。記録紙をセットしていないときは、窓の部分にお好きなポストカードなどを入れ、フォトフレームとしてもお使いいただけます。

アンテナ

通気孔

操作パネル解除ボタン
インクリボンを交換するときや、原稿、記録紙がつまったときに、このボタンを押して操作パネルを開けます。

記録紙排出口
記録紙がここから出てきます。

差し込みプラグ

電源コード

アース端子
本体の底面にあります。

受話器接続端子
受話器コードを接続します。

回線接続端子
電話機コードを差し込みます。

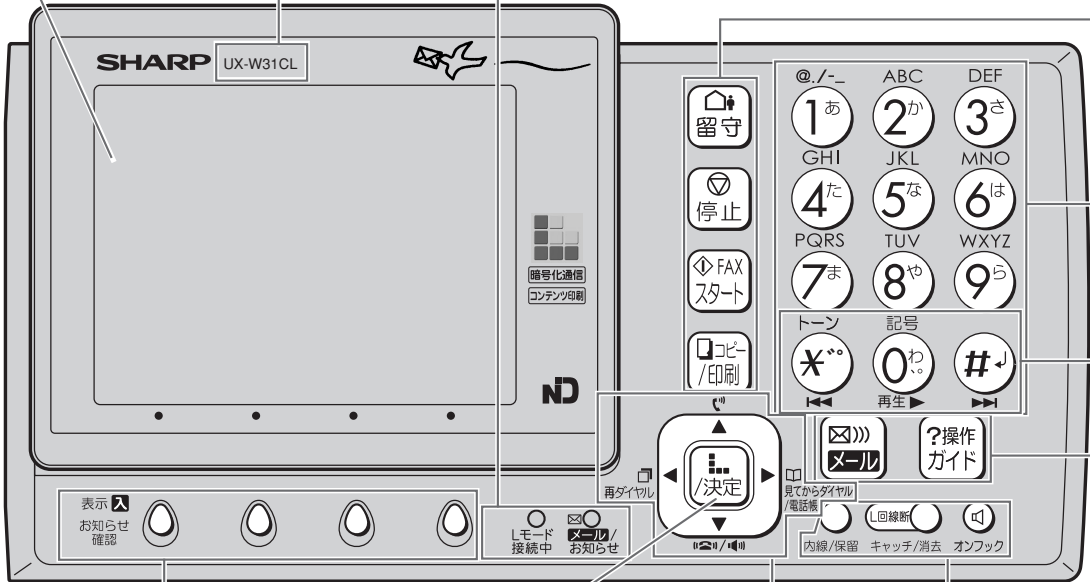
停電時端子
停電になったときなどに、お手持ちの電話機を接続すると電話をかけたり、受けたりすることができます。
（電話機を増設する ☞5-21ページ、
停電になったとき ☞8-31ページ）

操作パネル

このファクシミリの形名です（UX-W31CLまたはUX-W31CW）

カラー液晶ディスプレイ（☞1-12ページ）

Lモード接続中　「Lモード」に接続している間、緑色のランプが点灯しています。

メール/お知らせ　「Lモード」にメールが届いたときや、「受信FAXがあります」やエラーメッセージが待機画面に表示されたとき、赤色のランプが点灯してお知らせします。※

ソフトボタン（☞1-12ページ）

L／決定ボタン（☞第6章 Lモード）

「Lモード」へ接続するときに使います。また、選択や入力した内容の決定に使います。

※通信エラーなどでお知らせランプが点灯している場合、ファクスを受信するなどすると、お知らせランプは消えます。

マルチファンクションキー

登録や設定項目を選ぶときや、電話帳で相手の方を選ぶときに使います。ディスプレイに表示した画像をスクロールさせるときにも使います。

また、押す方向によって次の機能を兼用しています。

- **▲は、(音量)（☞1-32ページ）**
  受話音量を変えるときに使います。
- **▼は、/ (音量)（☞1-27、1-32ページ）**
  呼出音量、スピーカー音量を変えるときに使います。
- **◀は、再ダイヤル／(ポーズ)（☞2-13、2-30、3-12ページ）**
  同じ相手の方にもう一度ダイヤルするときに使います。（再ダイヤル）
  また、電話番号の登録の途中で、待ち時間を入れるときに使います。（ポーズ）
- **▶は、見てからダイヤル／電話帳（☞2-17、2-18、2-26~2-28、3-12、3-14ページ）**
  電話帳で相手の方に電話をかけるときに使います。
  見てからダイヤルに電話番号を登録したり、電話をかけたりファクスを送ったりするときに使います。

留守ボタン（表示ランプ兼用）
（☞4-2、4-5ページ）

外出時、留守番電話にするときに使います。

FAXスタートボタン
（☞3-8、3-19ページ）

ファクスを送るときや受けるときに使います。

停止ボタン

操作や送信を途中で止めるときに使います。
「Lモード」をご利用時には、「Lモード」を終了して回線を切断するときに使います。

コピー／印刷ボタン
（☞3-6、3-7、3-27ページ）

原稿をコピーするときに使います。
また、見てからプリント機能で表示させた画面をプリントするときにも使います。

ダイヤルボタン

電話をかけるときや、文字入力、登録操作を行うときに使います。

押したボタンの番号を音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）
解除したいときは5-5ページをご覧ください。

⏮戻し／トーンボタン
（☞4-6、5-24ページ）

再生中に録音内容を聞き直したり、１つ前の録音内容を聞いたりするときに使います。
また、ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するときに使います。

⏭送りボタン（☞4-6ページ）

再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

再生ボタン（☞4-6ページ）

録音内容を再生するときに使います。

メールボタン
（☞第6章 Lモード〈メール〉）

「Lモード」利用時にメールを作ったり、送受信するときに使います。

操作ガイドボタン
（☞1-25～1-26ページ）

このボタンを押すとファクスの送受信など基本的な操作方法やエラー解除の方法などを表示します。

内線／保留ボタン
（☞2-10、2-32、2-34、2-36ページ）

子機と内線でお話しするときや、相手の方を保留メロディーでお待たせするときに使います。

キャッチ／消去 L回線断 ボタン
（☞5-25、6-7ページ）

各種消去メニューで各項目の内容を消したりするときに使います。
また、キャッチホンを利用するときも使います。
「Lモード」をご利用時には、画面表示をそのままにして回線を切断するときに使います。

オンフックボタン
（☞2-3、3-10ページ）

受話器をおいたままダイヤルするときに使います。

ディスプレイ表示

待機画面（通話や操作などをしていないとき）では下記のように表示します。
ディスプレイは、待機画面になってから約10分間、点灯していますが、その後消灯します。
節電のため、ディスプレイが消灯するまでの時間を短くすることができます。（☞1-13ページ）

設定状態表示エリア

メモリー受信
ファクスをいったんメモリーで受け、受信が終了してからプリントする設定のときに表示します。
また、すぐに記録紙にプリントするように設定すると、「記録紙受信」と表示します。メモリーで受け、画面で見てからプリントする設定のときは、「見てからプリント」と表示します。

メール自動
メール自動受信（☞6-30～6-33ページ）が設定されているときに表示します。

呼出音切
呼出音を鳴らさない設定にしているときに表示します。

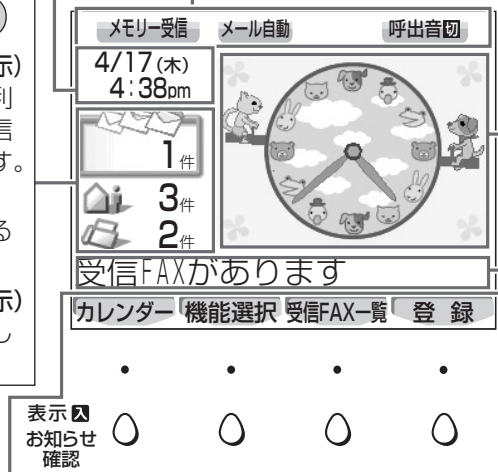
日付・時間表示エリア

日付・時刻を表示します。

メモリー表示エリア

（受信メール件数表示）
「Ｌモード」のサービス利用時に保存されている受信メールの件数を表示します。

（留守録音件数表示）
留守録やメモ録音している件数を表示します。

（メモリー受信件数表示）
ファクスをメモリー受信している件数を表示します。

キャラクター表示エリア

工場出荷時は「からくり時計」を表示しています。「内蔵アニメーション」、「カレンダー」に変更することができます。
「Lモード」を利用してダウンロードしたデータを画面メモに保存して表示することもできます。
（☞5-2、6-70～6-71ページ）

エラー／メッセージ表示エリア

「通信エラー」「原稿がつまっています」などのエラー表示や「受信FAXがあります。…」などのメッセージを表示します。

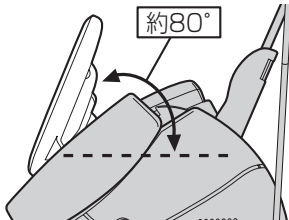
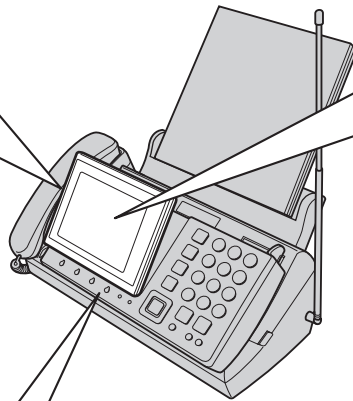
ソフトボタン表示エリア／ソフトボタン

操作に必要なボタンの名称がディスプレイに表示されますので、表示の下の ◯ を押します。（表示部分を押しても動作しません。）
ディスプレイが消灯しているときは、これらのボタンを押すとディスプレイが点灯し、待機画面になります。
ディスプレイが消灯して、メール/お知らせ が点灯しているときはこれらのボタンを押してエラー／メッセージを確認してください。

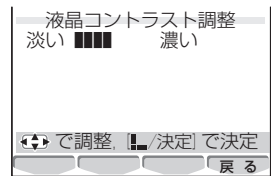
お知らせ

- エラー／メッセージ表示エリアに表示されるメッセージが長いときは、文字が自動的に流れて全文表示されます。そのとき、文字がにじんで見えることがありますが、故障ではありません。

ディスプレイを調節する

液晶ディスプレイは見えやすい角度に調節することができます。

※液晶ディスプレイの角度を調節するときは、ゆっくりと調節できる範囲で動かしてください。速く動かしたり、調節できる範囲以上に起こそうとしたりすると、故障の原因になります。

液晶ディスプレイのコントラストを調整することができます。

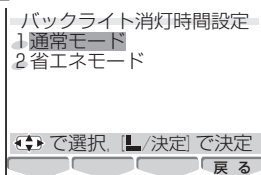
① 登録 を押したあと、6 1 と押す

② ◄ または ► で調整する

③ /決定 を押す

④ 停止 を押す

液晶ディスプレイが消灯するまでの時間を変更することができます。

① 登録 を押したあと、6 3 と押す

② ▲ または ▼ で「通常モード」または「省エネモード」を選ぶ

●通常モード…待機画面になってから約10分後に消灯します。

●省エネモード…待機画面になってから約4分16秒後に消灯します。

③ /決定 を押す

④ 停止 を押す

各部の名前とはたらき（子機）

各部の名前

マルチファンクションキー

電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。
また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。

● ▲ ▼ は、音量
（☞1-33ページ）
お話し中に、受話音量を変えるときに使います。

● ◀ は、再ダイヤル（ポーズ）
（☞2-19、2-31、5-4、7-13、7-15、7-17、7-19ページ）
同じ相手の方にもう一度、電話をかけ直すときに使います。（再ダイヤル）
ナンバー・ディスプレイをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。
また、電話番号の登録や発信の途中で、待ち時間を入れるときに使います。（ポーズ）

● ▶ は、電話帳
（☞2-19ページ）
電話帳に登録するときなどに使います。

機能（ファクス）ボタン

（☞3-15~3-16、5-16ページ）

登録操作や、ファクスを送受信するときに使います。

カナ／キャッチボタン

（☞1-43～1-46、5-25ページ）

文字を入力するとき、カナ入力モードや英字入力モードに切り替えるときに使います。
また、キャッチホンを利用するときに使います。

切ボタン（表示ランプ兼用）

通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。

ダイヤルボタン

電話をかけるときや、文字を入力するときに使います。
また、次の機能を兼用しています。

5（戻し）ボタン（☞4-7ページ）
再生中に録音内容を聞き直したり、１つ前の録音を聞いたりするときに使います。

6（送り）ボタン（☞4-7ページ）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

9（早聞き）ボタン（☞4-7ページ）
録音内容を早く聞くときに使います。（約1.5倍速）

＊（トーン）ボタン
（☞5-24ページ）
ダイヤル回線で、プッシュホンサービスを利用するときに使います。

ホットラインダイヤル

（☞2-29ページ）

ホットラインダイヤルを使って電話をかけるときに使います。

通話ボタン（表示ランプ兼用）

（☞2-4、2-6ページ）

外へ電話をかけるときや受けるときに使います。

スピーカーホンボタン

（☞2-7～2-8ページ）

子機を置いたまま、相手の方とお話しするときに使います。
（スピーカーホン通話）

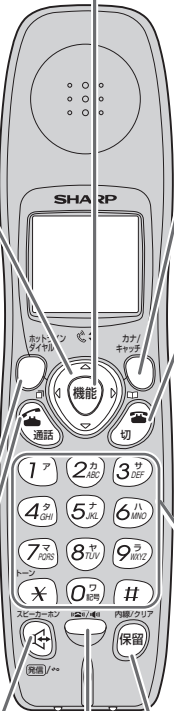
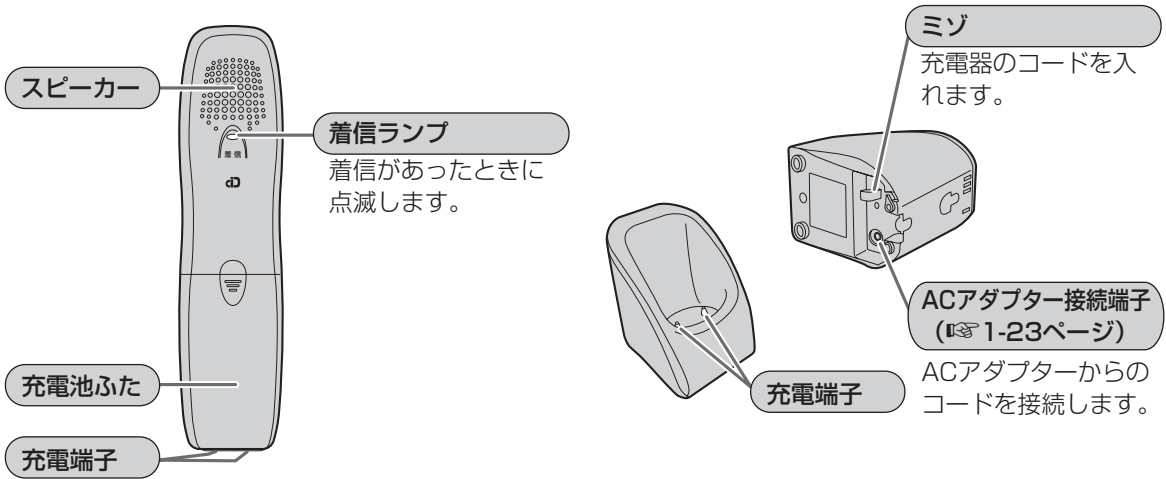
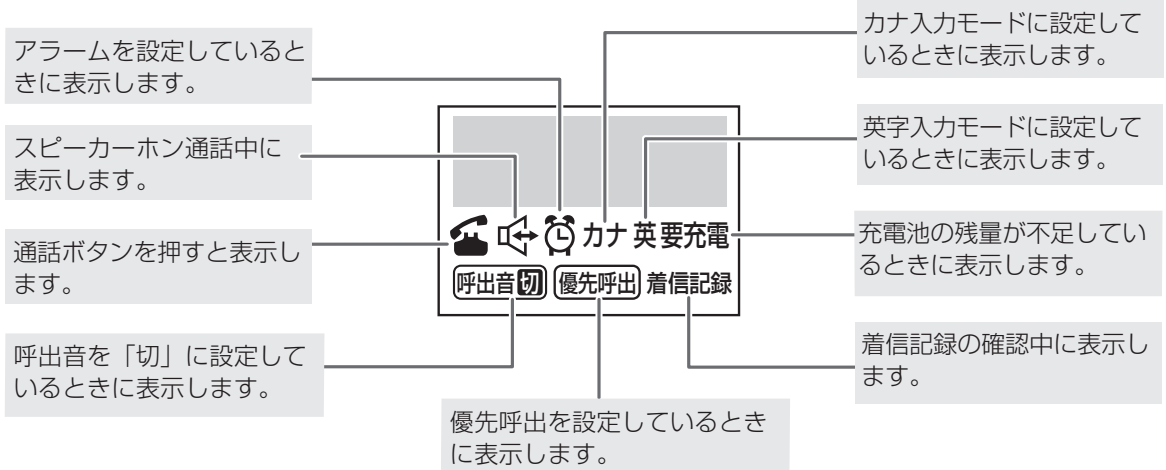
（音量）ボタン

（☞1-30、1-33ページ）

呼出音量やスピーカー音量を変えるときに使います。

保留／内線／クリアボタン

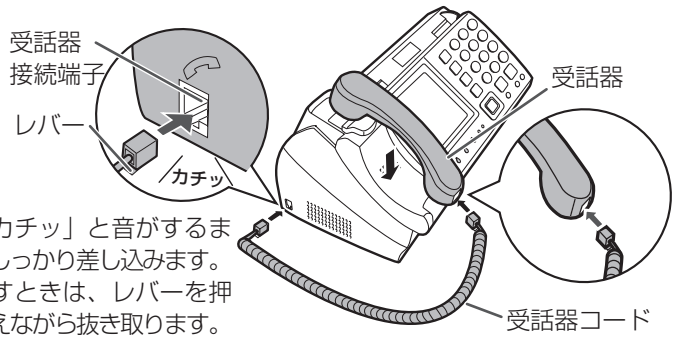
（☞1-44、1-46、2-10、2-33ページ）

通話中に、相手の方をお待たせするときや、親機と内線通話をするときに使います。
また、入力した文字を消すときにも使います。

ディスプレイ表示

※上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

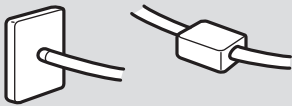
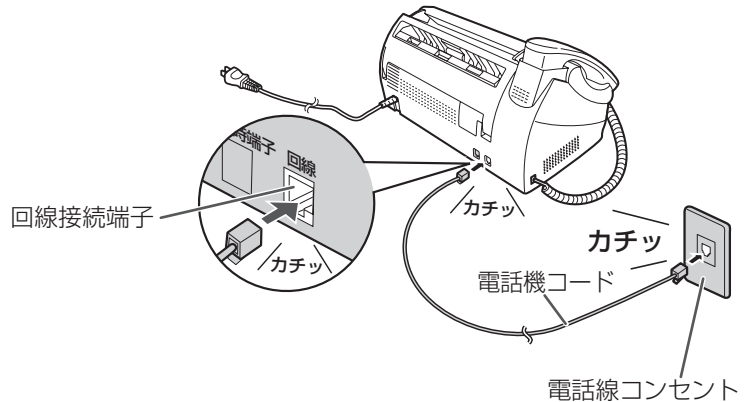
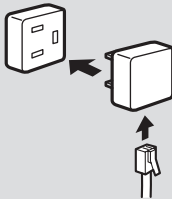
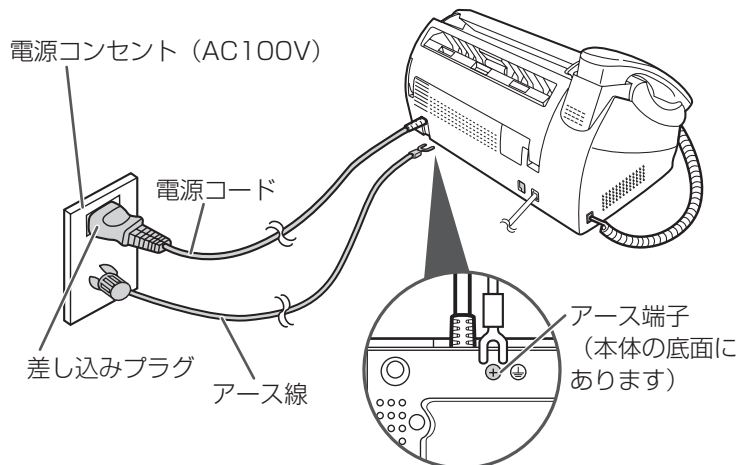
親機を接続する

電話回線に接続する

操作のしかた 必ず手順の番号順に接続してください。

1 受話器コードを、受話器接続端子と、受話器に差し込む

2 電話機コードを、回線接続端子とご家庭の電話線コンセントに差し込む

●コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、最寄りのNTT支店・営業所へご相談ください。

3ピンプラグ式コンセントの場合、市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。

3 差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。アース線は、付属しておりませんので市販ものをご購入ください。

次ページへ→

→つづき

4 電話回線が自動的に設定される

●10PPSの回線を使われているときは、手動で設定してください。（☞1-19ページ）

●回線種別とは…

電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと電話をかけることができません。
（利用している回線の種類は、NTTとの契約によります。）

●「回線種別選択」と表示されたときは

回線種別自動設定ができませんでした。回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。
回線種別が合っていないと電話をかけられなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。
こんなときは①～③で回線を選んでください。

20PPS	▶ ①
トーン（プッシュホン）	▶ ②
10PPS	▶ ③

●回線の種類がわからないときは（☞1-19ページ）

記録紙ホルダー、記録紙ホッパーを取り付ける

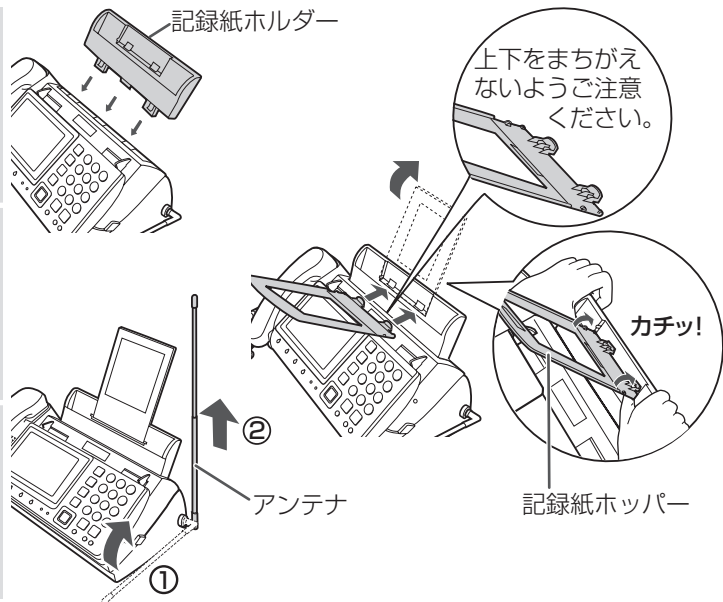
1 記録紙ホルダーを取り付ける

向きに注意して、図のように取り付けてください。

2 記録紙ホッパーを取り付ける

向きに注意して、図のように取り付けてください。

3 アンテナを立てて伸ばす

アンテナを立てて伸ばさないと、電波の届く距離が短くなります。

■ ファクシミリを設置したときは

通信状態を確認することができます。付属の「シャープファクス無料通信テストのご案内」に必要事項をご記入のうえ、シャープファクシミリ通信テストセンターまでファクスでお送りください。受信状態を診断して通信結果をお送り致します。（ファクス送信していただく時間帯によっては、返信に数日かかる場合もあります。）

シャープファクシミリ通信テストセンター
※番号のおかけ間違いのないようご注意ください
0120－364889

お知らせ

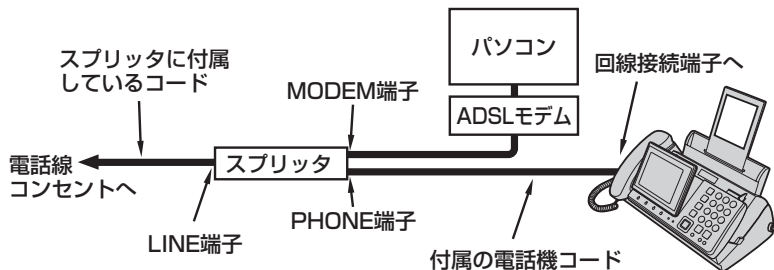
- 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続されている場合は、回線種別が正しく合わないことがあります。
- IP電話（インターネットを使った電話）サービスをご利用のときは、回線種別が正しく合わないことがあります。ご契約されている回線種別をご確認の上、手動で回線種別を設定してください。（☞1-19ページ）
- 電源を入れると、親機の底面等が部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- この商品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。

※ 電話回線をADSLやISDNに変更する場合は、「電話回線をADSLやISDNに変更したときは」（☞8-35～8-39ページ）をご覧ください。

ADSL回線をご利用のときは

インターネットやパソコン通信にADSLを利用する場合は、スプリッタを用いて本商品とパソコンの両方を接続することができます。ADSLを利用するには、ADSL各サービス会社への申し込みが必要です。

●ADSLには加入電話と共有するタイプ（タイプ１）と共有しないタイプ（タイプ２）があります。
　タイプ２のときは本商品をお使いになることができません。
　タイプ１のときは、下図のようにスプリッタの「PHONE端子」（各ADSLサービス会社によって名称の異なることがあります）に親機を接続します。

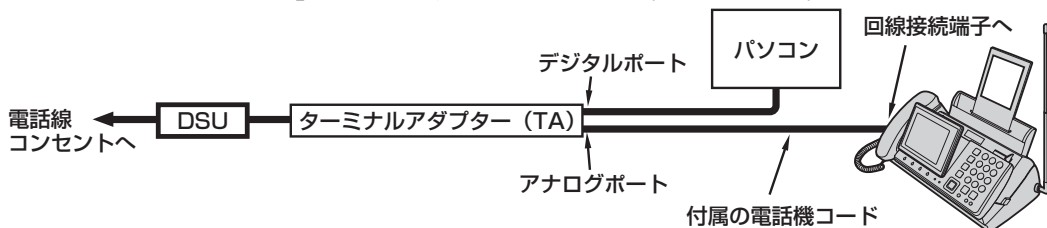
●本商品の回線種別はご契約の回線種別に設定してください。お使いのADSLモデムによっては回線種別が合っていなくても電話がお使いになれますが、0120（フリーダイヤル）などがご利用になれない場合があります。

お知らせ

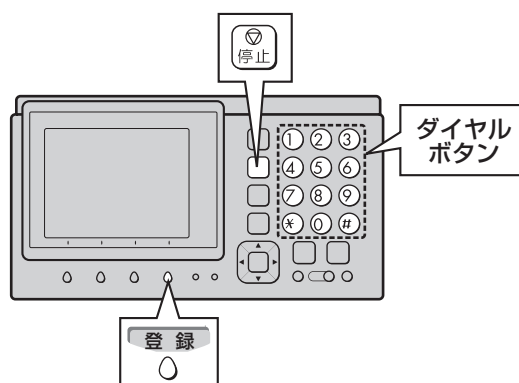
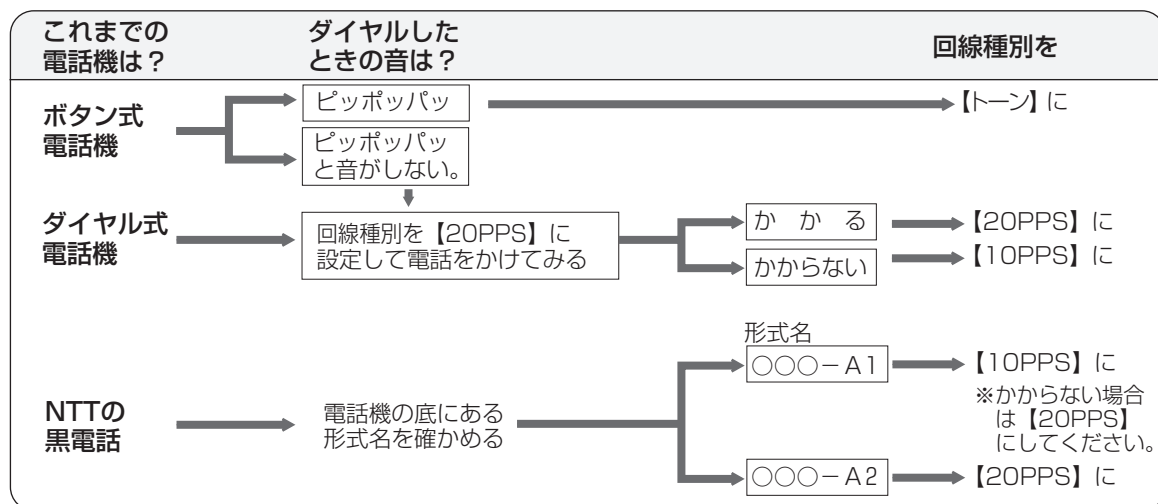
一般回線やISDNからADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては、次のようになります。

● FAXが送受信できなくなったり、電話にノイズが入ったりすること等があります。その場合は、各ADSLサービス会社にご相談ください。
● 電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話、PHSに発信した場合は、非通知になります。
● 発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990等をつけた場合、また110、119、177、117、186、184、122等の番号にかけたとき、かからない（つながらない）などといった現象が発生することがあります。このときは、契約されている回線種別と機器の回線設定が合っているかどうかを確認いただき、合っていない場合は手動で設定しなおしてください。（☞1-19ページ）

ISDN回線をご利用のときは

インターネットやパソコン通信にNTTのISDN回線（INSネット64）を利用する場合は、ISDNターミナルアダプター（TA）を用いて本商品とパソコンの両方を接続することができます。ISDN回線を利用するには、NTTへの申し込みが必要です。

●ISDNターミナルアダプター（TA）の「アナログポート」（TAメーカーにより名称の異なることがあります）に親機を接続します。
●ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。
●回線種別はプッシュ回線（PB）に設定してください。
●ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。
●ナンバー・ディスプレイに対応していないターミナルアダプターをお使いのときは、ナンバー・ディスプレイの利用設定を「使用しない」に設定してください。（☞7-3ページ）
●ネーム・ディスプレイを利用するときは、ネーム・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。
●「Ｌモード」をご利用になるときは、「Ｌモード」に対応したターミナルアダプター（TA）をご利用ください。
●ISDNをご利用のときは、ターミナルアダプターによって電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「TA対応」の設定を変更してください。（☞9-8ページ）

回線種別を合わせる（変える）ときは

回線種別を親機が自動的に設定できなかったときや、電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。もう一度、回線種別を設定し直してください。
また、10pps回線をご利用の方も、この設定で10PPSに設定を変えてからお使いください。

●回線の種類がわからないときは
回線の種類は、次の方法で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTTの支店、営業所にお問い合わせください。

お知らせ

● 受話器を取った状態や、オンフックボタンを押した状態で、回線種別を変えることはできません。

インクリボンをセットする

はじめてお使いになるときは、付属のインクリボンをセットしてください。

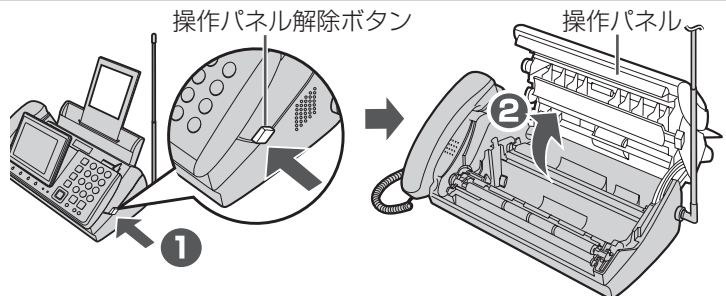
インクリボンは、当社推奨品をお使いください。
（☞9-2ページ）

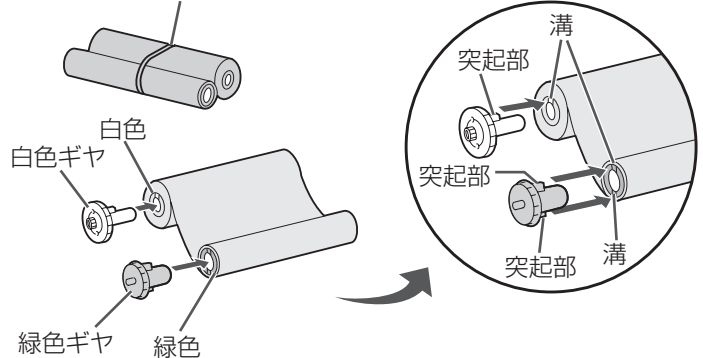
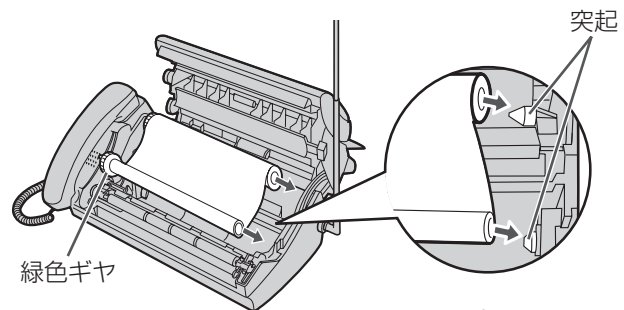
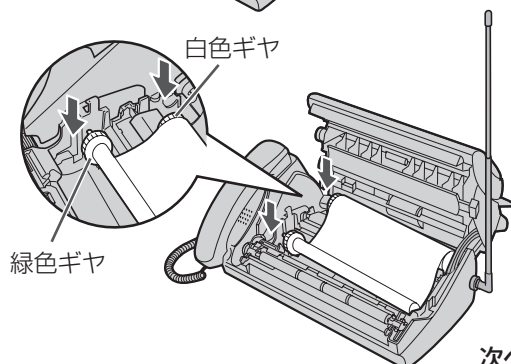
UX-NR4A4 (50m×1本)
UX-NR4A4W (50m×2本)

インクリボン50mでA4原稿を通常使用で約150枚プリントすることができます。
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

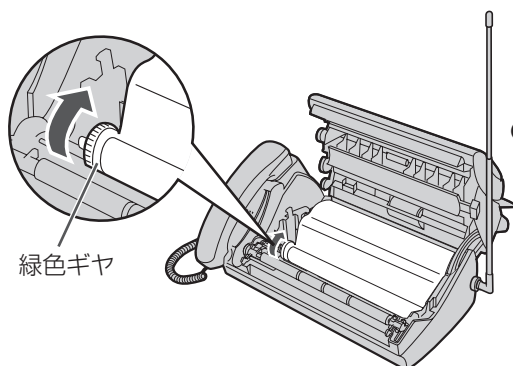
操作のしかた

1 操作パネル解除ボタンを押して操作パネルを開ける

●操作パネルをいっぱいに開けるととまります。

2 インクリボンの芯の色に合わせて、緑色ギヤと白色ギヤを差し込む

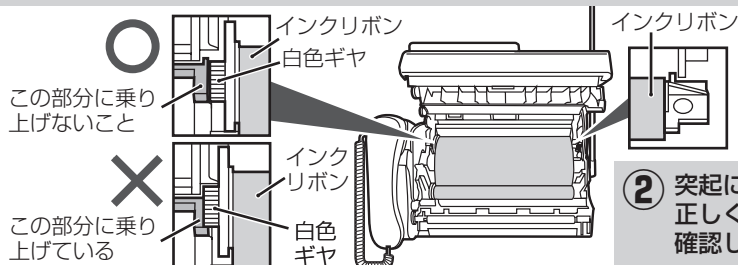
●ギヤの突起部分をインクリボンの溝にしっかりと合わせてください。

3 緑色ギヤを左手前にして本体右側の突起にインクリボンの芯の右側をそれぞれ差し込む

4 インクリボンの左側の白色ギヤは左奥側の溝へ、緑色ギヤは左手前の溝へ取り付ける

次ページへ→

→つづき

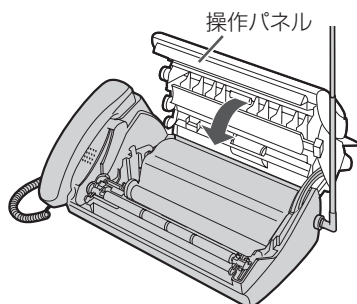
5 緑色ギヤを矢印の方向へ 2 〜 3 回まわしてインクリボンのたるみを取る

●インクリボンの上にラベルが貼られているときは、貼っているラベルがかくれるまで巻き取ってください。

操作パネルを閉める前に確認してください。

インクリボン取り付けが終わったら、操作パネルを閉める前に、もう一度次の①、②を確認してください。①、②**が正しくできていないまま無理に操作パネルを閉じると、インクリボンのギヤや本体が破損する恐れがあります。**

① インクリボン装着時、白色ギヤが左側に乗り上げて、斜めに取り付かないようご注意ください。（白色ギヤが溝に正しくセットされているか確認してください）

② 突起にインクリボンの芯が正しく差し込まれているか確認してください。

6 操作パネルを閉める

●手をはさまないように、注意してゆっくり閉めてください。

●「記録紙／インクリボン確認」の表示が約10秒以上たっても消えないときは、インクリボンがたるんでいます。
こんなときは、もう一度手順 1 → 5 → 6 の順で操作をやり直してください。

■ 使用済インクリボンの取り扱いについて

- ご使用済みのインクリボンにはコピーや受信したときの内容がフィルム上に白く残っています。コピーや受信した内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、お捨てください。
- また、ご使用済みのインクリボンは「燃えないゴミ」としてお捨てください。（地域によっては、インクリボンのフィルムは「燃えるゴミ」として取り扱われている場合もあります。）

・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
・インクリボンの芯は紙、ポリスチレンでできています。

お知らせ

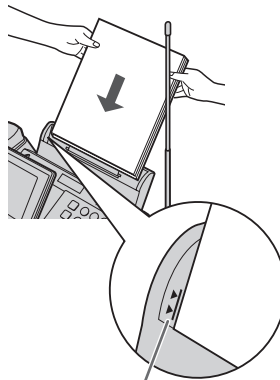
- インクリボンは必ず当社推奨品をお使いください。（☞9-2ページ）当社推奨品以外のインクリボンをご使用になると、故障や印刷かすれの原因になることがあります。

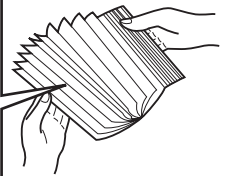
記録紙をセットする

１度に30枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙は、A4サイズの当社推奨品をお使いください。(☞9-2ページ)
推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃くまたは薄くプリントされることがあります。
●普通紙（ST-149FAX）
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

操作のしかた

1 プリントする面をウラ向きにし、記録紙ホルダーにセットする（一度に30枚まで）

▼▼マークの位置がめやすです。
マークの線を超える枚数はセットしないでください。

記録紙をよくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットしてください。
さばかずに紙の先端をそろえずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。

●記録紙ホッパーが壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。
このようなときは、親機の設置位置を少し前に寄せてください。
●記録紙を強く差し込まないでください。

■ **記録紙を追加するときは**
いったん記録紙を全部抜き取ってから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙を追加しないでください。

■ **記録紙がつまったときは（☞8-7ページ）**

お知らせ

- しわや折り目のあるもの、反っているもの、また破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- プリント中に記録紙ホッパーや記録紙ホルダーを引き抜かないでください。
- 長期間、記録紙ホルダーに記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。

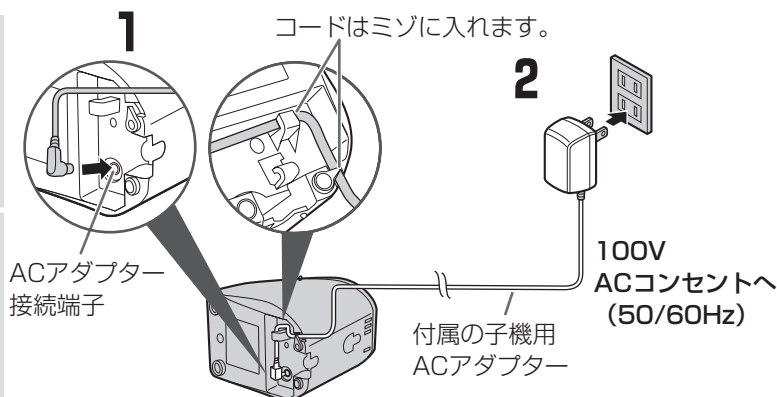
子機を充電する

充電器をACアダプターと接続して電源コンセント（AC100V）に差し込みます。また、子機を壁に掛けて使うこともできます。

充電器を接続する

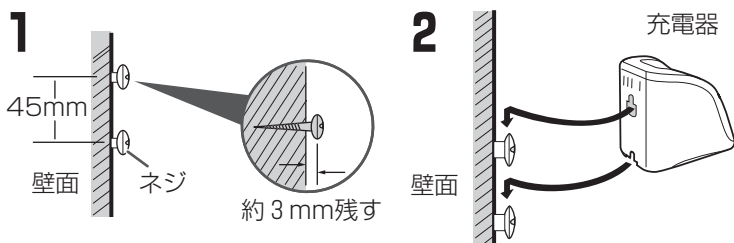
操作のしかた

1 充電器にACアダプターを接続する

2 ACアダプターをコンセントに差し込む

子機を壁に掛けて使う

操作のしかた

1 ネジをしっかりとした壁や柱に取り付ける

2 充電器を取り付ける

●壁や柱に取り付けるときは、しっかりとした、一定の厚み（2cm以上）のある所へ取り付けてください。

●ACアダプターのコードを壁面と充電器の間にはさまないようにしてください。

●壁掛け用ネジは付属していません。

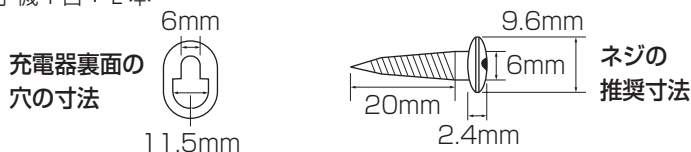
取り付ける場合は、図の推奨寸法に近いネジをお買い求めください。
子機１台：２本

充電器裏面の穴の寸法

ネジの推奨寸法

9.6mm
6mm
20mm
2.4mm

45 mm

壁掛用取り付け寸法

お知らせ

- 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。
- 子機の充電器は、充電端子が汚れていたり、異物がついていたりすることがあります。いつもきれいにしておいてください。（☞8-5ページ）
- 充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

充電池をセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、
必ず10時間以上充電してください。

充電池の寿命

- 充電池にも寿命があります。古くなると充電しても使えなくなります。
- 使用頻度にもよりますが、約2年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは新しい別売の充電池に交換してください。（別売品／消耗品☞9-2ページ）

通話時間について

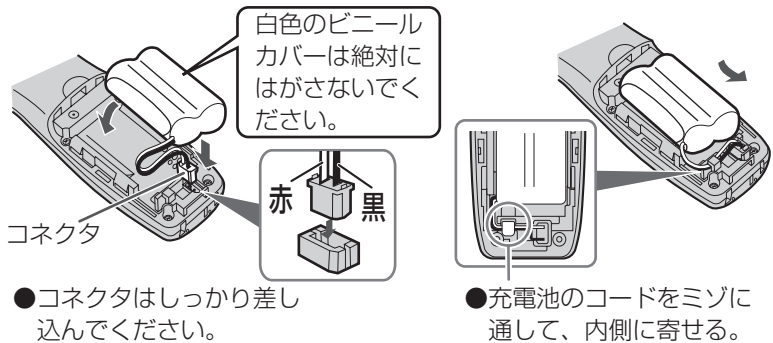
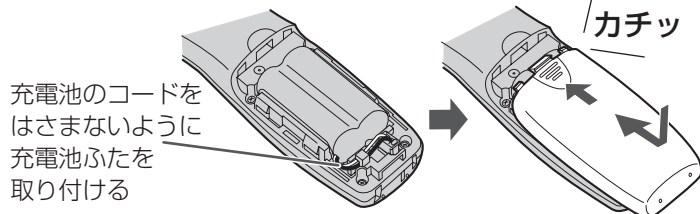
いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は

- 通話状態で**約6時間**です。
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます。（子機のディスプレイに“要充電”が表示されます。）このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。
- スピーカーホン通話（☞2-7〜2-8ページ）でお話しすると通話できる時間は短くなります。

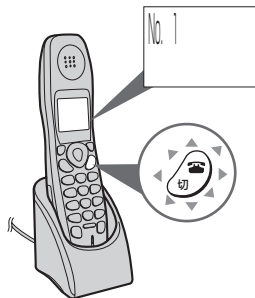
操作のしかた

1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる

●コネクタはしっかり差し込んでください。

●充電池のコードをミゾに通して、内側に寄せる。

2 充電池ふたを取り付ける

3 子機を充電器に置く
ボタン面を手前に向けて置いてください。逆向きに置くと充電されません。

はじめてお使いになるときは、切ボタンが点灯してから
10時間以上充電
してください。

子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り（切ボタン点灯）、充電が始まります。

- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
- はじめて子機を充電するときは、切ボタンが点灯しても、液晶ディスプレイに“ No. 1 ”が表示されるまで時間がかかることがあります。
- 充電中は充電器や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
- ディスプレイに表示される“ No. 1 ”などの番号は、子機の内線番号です。内線通話やとりつぎ転送するときに使います。（☞2-32、2-34ページ）

お知らせ

- 旅行や長期不在により子機を使用されないときは、充電池のコネクタを外しておくことをおすすめします。

操作ガイドボタンを使う（親機）

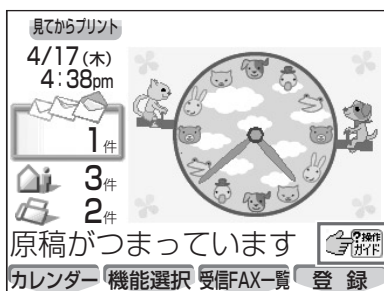
操作ガイドを表示する

［?操作ガイド］を押すと基本的なファクスの送受信の方法やＬモード、エラー表示についての説明がディスプレイに表示されます。

操作ガイドのもくじ

液晶操作ｶﾞｲﾄﾞ
知りたい項目を［▲▼］で選んで
［■/決定］を押してね！
1 ﾌｧｸｽを送るとき
2 ﾌｧｸｽを受けるとき
3「受信FAXがあります」
4 ｾﾝﾀｰにﾒｰﾙが届いています
次ページ　中　止

5 Lﾓｰﾄﾞを使うとき
6 ｴﾗｰ表示のとき

- 1・2 → ファクスの基本的な送受信操作
- 3 → 受信データの確認／プリント操作
- 6 →
  - ①原稿がつまっています
  - ②記録紙／ｲﾝｸﾘﾎﾞﾝ確認
  - ③受信／録音ﾒﾓﾘｰ不足
  - ④FAX受信ﾒﾓﾘｰが一杯です
  - ⑤録音ﾒﾓﾘｰが一杯です
  - ⑥通信ｴﾗｰ　1～7
  - ⑦応答がありません

●ディスプレイが点灯していて、待機画面に「受信FAXがあります。…」やエラー表示などのメッセージと「?操作ガイド」が表示されているときは、［?操作ガイド］を押すと、解除手順を説明する操作ガイドが表示されます。上記の目次画面を表示したいときは、［目次へ］を押してください。
メッセージが表示されていないときに［?操作ガイド］を押すと上記の目次画面から表示します。

●ディスプレイが消灯しているときに、メール/お知らせランプが赤色点灯している場合は、「表示［入］お知らせ確認ボタン」を押して内容を確認してから［?操作ガイド］を押してください。

操作ガイドに沿ってファクスを送る

を押す

または で「ファクスを送るとき」を選び、 または 次ページ を押す

「1 ガイドに沿ってファクスを送る」を選び、 または 次ページ を押す

もう1度 次ページ を押す

次ページ を押す

次ページ を押す

原稿をセットする

受話器を取る → 相手のファクス番号をダイヤルする → ダイヤル後、次ページ を押す

FAXスタート を押す → 受話器を戻す

ファクス送信が始まります。

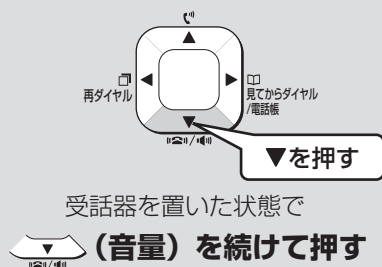
お知らせ

● 操作ガイドを表示しているときは、子機で電話をかけることはできません。

呼出音量や呼出音の種類を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えること
ができます。

親機の呼出音量を変える

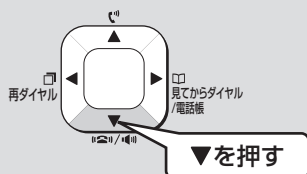
電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

受話器を置いた状態で

▼（音量）を続けて押す

●はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

●ボタンを続けて押すと5段階に設定できます。

親機の呼出音を鳴らさないようにする

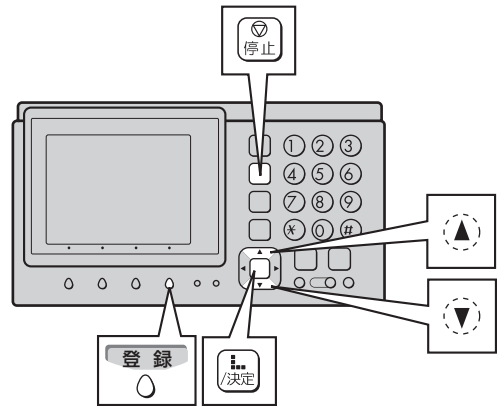
呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、液晶ディスプレイの表示でわかります。

受話器を置いた状態で

▼（音量）を5秒以上（「ピー」という音が鳴るまで）押し続ける

親機のディスプレイに 呼出音切 が表示されます。
再び、呼出音を鳴らすときは、（音量）ボタンを押します。

●「切」にしているときでも、内線からの呼出音やLモードのメール到着通知音は鳴ります。

親機の呼出音の種類を変える

電話がかかってきたときの呼出音の種類を変えることができます。
親機の呼出音は、あらかじめ6種類のメロディーが内蔵されています。
また、「Lモード」を利用すると、さらに3種類（4和音）のメロディーをダウンロードして利用することもできます。

操作のしかた

1 **登録 を押し、▲または▼で「音関連設定」を選ぶ**

登録設定
1 初期登録
2 読上げボイス設定
3 からくり時計設定
4 おもしろ便利機能設定
5 音関連設定
で選択, [L/決定] で決定
戻る

2 **L/決定 を押し、▲または▼で「親機呼出音」を選ぶ**

音関連設定
1 音量調整
2 親機呼出音
3 メール到着通知音
4 メール自動受信完了音
で選択, [L/決定] で決定
戻る

3 **L/決定 を押し、▲または▼で「親機呼出音切替」を選ぶ**

親機呼出音
1 親機呼出音切替
2 在宅時コール回数
3 留守時コール回数
で選択, [L/決定] で決定
戻る

4 **L/決定 を押し、▲または▼で呼出音を選ぶ**

親機呼出音切替
1 電話ベル音
2 鳥の声
3 電子音
4 春の歌
5 トルコ行進曲
で選択, [L/決定] で決定
戻る

●はじめは（工場出荷時は）電話ベル音に設定されています。

固定メロディ	1	電話ベル音
	2	鳥の声
	3	電子音
	4	春の歌
	5	トルコ行進曲
	6	森のくまさん
「Lモード」からのダウンロード※	7	（ダウンロードメロディー1）
	8	（ダウンロードメロディー2）
	9	（ダウンロードメロディー3）

※7～9の呼出音は、「Lモード」からメロディーをダウンロードした場合に表示されます。

5 **L/決定 を押し、「登録する」を選ぶ**

●呼出音を試聴したいときは、手順5のあと▲または▼で「演奏する」を選び、L/決定ボタンを押します。聞き終わったら、中止ボタンを押します。

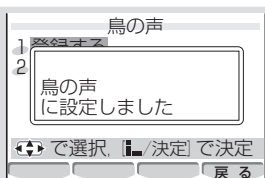
次ページへ→

→つづき

6 [/決定] **を押す**

7 [停止] **を押す**

■ **途中でやめるときは**

[停止]を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

[戻る] を押します。

■ **設定した親機の呼出音を確認したいときは**
（親機の呼出音量を変える **☞1-27ページ）**

お知らせ

- 内線からの呼出音は、常に「プルルル、プルルル」です。
- 親機の呼出音を電話ベル音以外に設定していても、プリント中などで、親機が動作しているときは、「電話ベル音」になります。
  プリント終了後は、設定された呼出音が鳴ります。

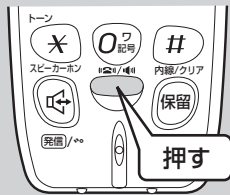
子機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で
（音量）を押す

はじめは「大」になっています。
小⟷大の 2 段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。音は現在設定している呼出音で鳴ります。）

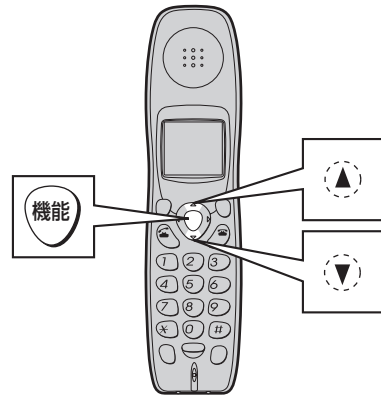
子機の呼出音を鳴らさないようにする

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、通話ボタンや着信ランプの点滅でわかります。

通話ボタンを消灯させた状態で
（音量）を 2 秒以上（ピー音が鳴るまで）押し続ける

ディスプレイに 呼出音切 が表示されます。
再び呼出音を鳴らすときは （音量）ボタンを押します。

● 呼出音切 に設定しているときでも、内線からの呼出音は鳴ります。

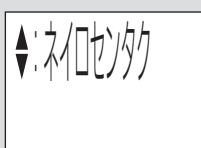
子機の呼出音の種類を変える

子機の呼出音は、あらかじめ９種類内蔵されています。
さらに、自分で作曲できるオリジナルメロディー（☞5-9〜5-14ページ）を１種類登録できますので、合わせて10種類の中から１つ選ぶことができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押し、**（▲）**または**（▼）**で「チャクシンネイロ」を選ぶ**

チャクシンネイロ

2 （機能）**を押す**

▲▼：ネイロセンタク

●現在設定されている呼出音が鳴ります。

3 （▲）**または**（▼）**で呼出音の種類を選ぶ**

●選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。

固定メロディー	01	「プルルル　プルルル」
	02	「ポロロロ　ポロロロ」
	03	「ショートメロディー①」
	04	「ショートメロディー②」
	05	「ショートメロディー③」
	06	「展覧会の絵」
	07	「エリーゼのために」
	08	「のばら」
	09	「春」
オリジナルメロディー	10	「オリジナル」※

※「自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）」（☞5-9〜5-14ページ）で作ると選ぶことができます。

4 （機能）**を押す**

●「ピー」と鳴って設定されます。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

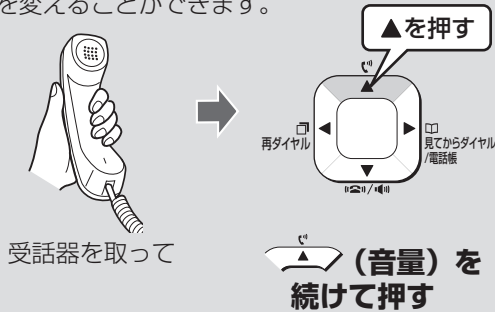
お知らせ

● 内線からの呼出音は、常に「プルルル、プルルル」です。

受話音量やスピーカーの音量を変える

相手の声が聞きとりにくいときは、受話器やスピーカーから聞こえる音の大きさを変えることができます。

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

受話器を取って

▲（音量）を
続けて押す

●はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

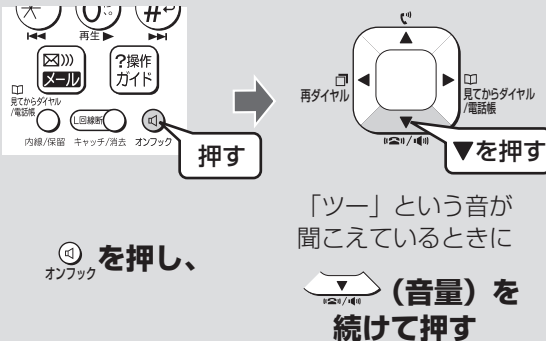
●ボタンを続けて押すと5段階に設定できます。

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時にスピーカーから聞こえる音の大きさや、通信時の音声ガイダンス（「ファクスを送信します。」など）の大きさ、留守録の応答メッセージの大きさ、読上げボイスダイヤル機能（☞5-5ページ）の音の大きさを変えることができます。

オンフックを押し、

「ツー」という音が
聞こえているときに

▼（音量）を
続けて押す

●はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

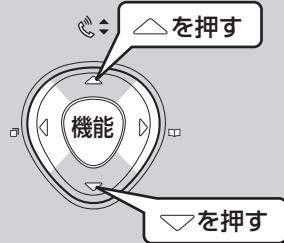
●ボタンを続けて押すと5段階に設定できます。

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（親機送話音量を調整する　☞8-2ページ）**

■ **親機のダイヤルボタンを押したときの音声を発声させないようにするときは**
（読上げボイスダイヤル機能　☞5-5ページ）

■ **親機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を鳴らさないようにするときは（☞5-15ページ）**

子機の受話音量を変える

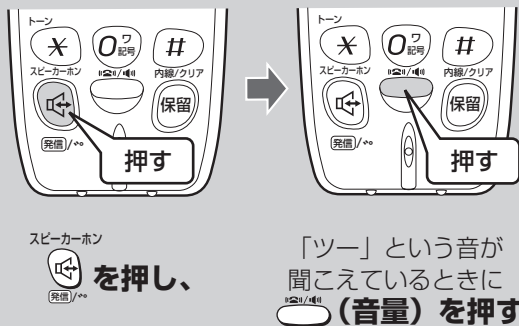
通話中に受話口から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

通話中に
大きくするときは を押す
小さくするときは を押す

はじめは「標準」になっています。
標準⟷特大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

子機のスピーカー音量を変える

スピーカーホン通話しているときや、録音再生時などスピーカーから聞こえる大きさを変えることができます。

スピーカーホン **を押し、**

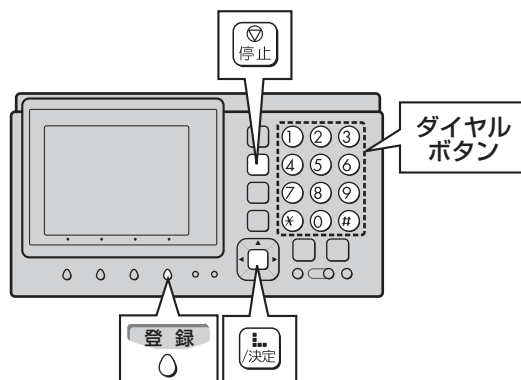
「ツー」という音が聞こえているときに
（音量）を押す

はじめは「標準」になっています。
標準⟷大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（子機送話音量を調整する ☞8-2ページ）**

■ **子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは（子機受話音量を調整する ☞8-2ページ）**

■ **子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を鳴らさないようにするときは（☞5-16ページ）**

日付と時刻を合わせる

ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻、曜日をプリントします。また、留守番電話で用件が録音された日付や時刻を確認したりすることもできます。
（親機の日付・時刻は、工場出荷時にあらかじめ設定されています。）

親機の日付と時刻を合わせる

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

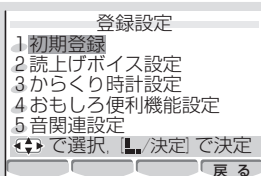
1 登録 を押し、「初期登録」を選ぶ

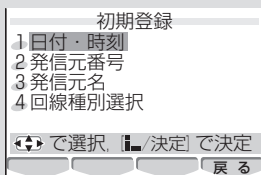
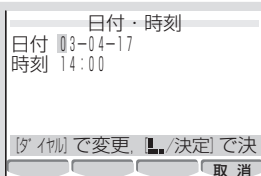
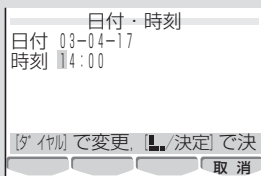
登録設定
1 初期登録
2 読上げボイス設定
3 からくり時計設定
4 おもしろ便利機能設定
5 音関連設定
で選択，[/決定] で決定
戻る

2 /決定 を押し、「日付・時刻」を選ぶ

初期登録
1 日付・時刻
2 発信元番号
3 発信元名
4 回線種別選択
で選択，[/決定] で決定
戻る

3 /決定 を押す

日付・時刻
日付 03-04-17
時刻 14:00
[ダイヤル] で変更，[/決定] で決
取消

4 ダイヤルボタンで日付を入れる

日付・時刻
日付 03-04-17
時刻 14:00
[ダイヤル] で変更，[/決定] で決
取消

例：0 3 0 4 1 7
２００３年 ４月 １７日

日付を修正しないときは、▼ を押して手順５へ

●数字を入れまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

●年は西暦年の下２桁を入れます。
【年入力】
２００３年 ⇒ ０３
〜
２０４８年 ⇒ ４８

5 ダイヤルボタンで時刻を入れる
時刻は24時間制で入れます。

日付・時刻
4月17日 木 15:00
[/決定] で決定します
取消

例：1 5 0 0
午後３時 ００分

6 /決定 を押す

●０秒から時計がスタートします。

7 停止 を押す

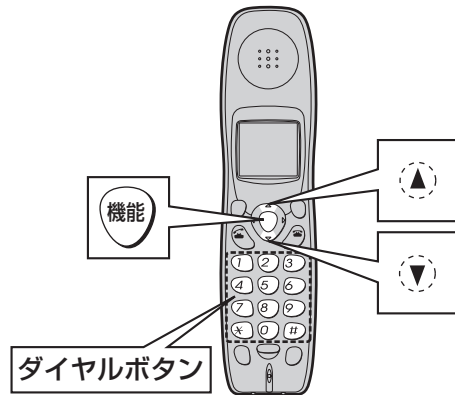
■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
戻る または 取消 を押します。

お知らせ

● 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）
● 日付が入れば、曜日は自動的に設定されます。年は送信したファクスにプリントされます。また、カレンダーでも表示されます。
● 操作の途中で約３分間何もしないでいると、待機画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

子機の時刻を合わせる

子機の時刻を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。(親機の時刻を合わせても子機の時刻は合いません。)

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 を押し、▲ または ▼ で「トケイトウロク」を選ぶ

トケイトウロク

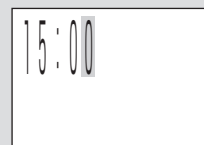
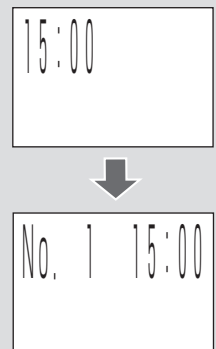
2 機能 を押す

3 ダイヤルボタンで時刻を入れる

15:00

時刻は24時間制で入れます。

例：1 5 0 0
午後3時 00分

- 1ケタのときは、最初「0」をつけて入れます。
  例：0 9 0 8
  午前9時 8分
- 数字を入れまちがえたときは、▶ または ◀ でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。

4 機能 を押す

- 「ピー」と鳴ったあと待機画面に戻り、0秒から時計がスタートします。

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

■ 「ピピピピ」と鳴ったときは

時刻として入力できる範囲を超えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

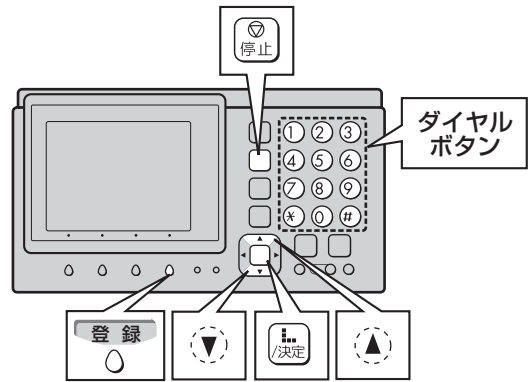
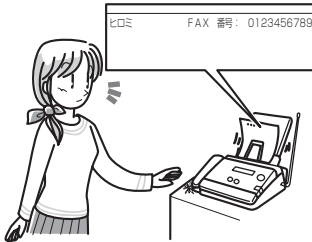
お知らせ

- 充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。再度、登録してください。
- 操作の途中で約2分間何もしないでいると、待機画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

あなたの電話番号や名前を登録する（親機）

あなたの電話番号を登録する

ファクスを送るとき、あなたの電話番号や名前（発信元情報）を相手の方に伝えるために登録します。登録した番号や名前は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

ファクスを受けた相手の方には‥‥‥

操作のしかた

1 登録 を押し、「初期登録」を選ぶ

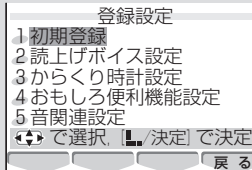
登録設定
1 初期登録
2 読上げボイス設定
3 からくり時計設定
4 おもしろ便利機能設定
5 音関連設定
で選択，[/決定] で決定
戻る

2 /決定 を押し、▲ または ▼ で「発信元番号」を選ぶ

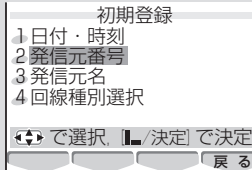
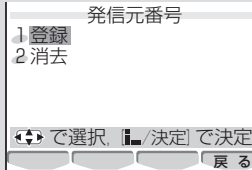
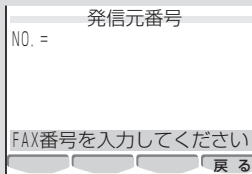
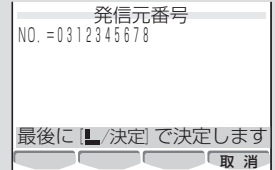
初期登録
1 日付・時刻
2 発信元番号
3 発信元名
4 回線種別選択
で選択，[/決定] で決定
戻る

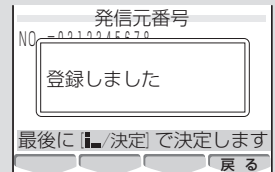
3 /決定 を押し、「登録」を選ぶ

発信元番号
1 登録
2 消去
で選択，[/決定] で決定
戻る

4 /決定 を押す

発信元番号
NO. =
FAX番号を入力してください
戻る

5 電話番号を入れる（最大20ケタ）

発信元番号
NO. =0312345678
最後に [/決定] で決定します
取消

- 番号を入れまちがえたときは取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。
- スペース（空白）を入れるときは #◂ を押します。
  プラス（+）を入れるときは ＊ を押します。

6 /決定 を押す

7 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

戻る または 取消 を押します。

■ **登録した電話番号を消すときは**

① 手順1～2の操作を行う
② /決定 を押し、「消去」を選ぶ
③ /決定 を2回押す
④ 停止 を押す

■ **登録した電話番号を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。

あなたの名前を登録する

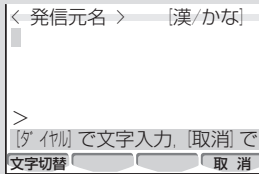
操作のしかた

1 **を押し、「初期登録」を選ぶ**

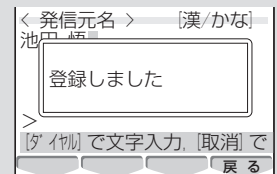
2 /決定 **を押し、▲ または ▼ で「発信元名」を選ぶ**

初期登録
1 日付・時刻
2 発信元番号
3 発信元名
4 回線種別選択
で選択，[/決定] で決定
戻 る

3 /決定 **を押し、「登録」を選ぶ**

4 /決定 **を押す**

5 名前を入れる（最大全角12文字／半角24文字）

（☞1-38～1-42ページ）

6 /決定 **を押す**

7 停止 **を押す**

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

戻る または 取消 を押します。

■ 登録した名前を消すときは

① 手順 1 ～ 2 の操作を行う

② /決定 を押し、「消去」を選ぶ

③ /決定 を 2 回押す

④ 停止 を押す

■ 登録した名前を変えるときは

一度消してから、もう一度登録します。

親機で文字を入力する

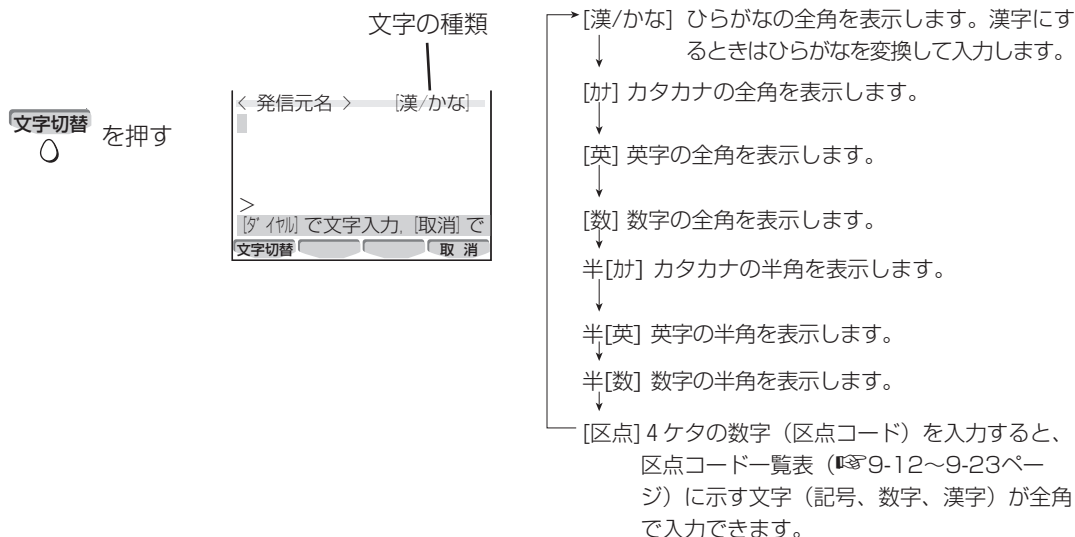
電話帳に名前を登録するときなど、文字を入力する場合は、ダイヤルボタンを使って入力します。
（☞2-11ページ、☞2-19ページなど）
親機では文字切替ボタンで文字の種類を替えてダイヤルボタンで入力します。

文字の種類（入力モード）を選ぶ

1 文字切替ボタンを押すたびに文字の種類が切り替わる

を押す

文字の種類

- [漢/かな] ひらがなの全角を表示します。漢字にするときはひらがなを変換して入力します。
- [ｶﾅ] カタカナの全角を表示します。
- [英] 英字の全角を表示します。
- [数] 数字の全角を表示します。
- 半[ｶﾅ] カタカナの半角を表示します。
- 半[英] 英字の半角を表示します。
- 半[数] 数字の半角を表示します。
- [区点] 4ケタの数字（区点コード）を入力すると、区点コード一覧表（☞9-12～9-23ページ）に示す文字（記号、数字、漢字）が全角で入力できます。

2 文字の種類を選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ（☞1-39ページ）

[漢/かな]（ひらがな）モード

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表（☞1-39ページ）のひらがなが全角表示されます。漢字にするときは、ひらがなを変換して入力します。（☞1-40ページ）

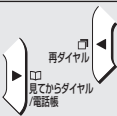
（例）1（@./- あ）を押した場合
押すたびに表示される文字が切り替わります。
あ → い → う → え → お → ぁ → ぃ → ぅ → ぇ → ぉ

[カナ]、[英]、半[カナ]、半[英]モード

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表（☞1-39ページ）の文字が全角または半角で入力できます。

[数]、半[数]モード

ダイヤルボタンに表示されている数字が全角または半角で入力できます。

[区点]モード

区点コード一覧表（☞9-12～9-23ページ）を見ながら、ダイヤルボタンで4ケタの数字を入れます。

（例）区点コード：4567の「翼」を入れる

文字入力一覧表

入力モード／入力ボタン	全角				半角			全角
	ひらがな [漢/かな]	カタカナ [ｶﾅ]	英字 [英]	数字 [数]	カタカナ(※1) 半[ｶﾅ]	英字(※2) 半[英]	数字 半[数]	区点コード [区点]
1 (@./-_ あ)	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	＠．／－＿	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@./-_	1	(☞9-12～9-23ページ)
2 (ABC か)	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2	ｶｷｸｹｺ	abc ABC	2	
3 (DEF さ)	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3	ｻｼｽｾｿ	def DEF	3	
4 (GHI た)	たちつてと っ	タチツテト ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	ghi GHI	4	
5 (JKL な)	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jkl JKL	5	
6 (MNO は)	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mno MNO	6	
7 (PQRS ま)	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrs PQRS	7	
8 (TUV や)	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	tuv TUV	8	
9 (WXYZ ら)	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyz WXYZ	9	
0 (記号 わ、。 再生▶)	わをんー □(スペース) 。、	ワヲンー □(スペース) 。、	，：！？＆ ／（）［］ □（スペース）	0	ﾜｦﾝｰ □(スペース)	※3	0	
＊ (トーン ⏮)	濁点/半濁点		無効	＊	濁点/半濁点	※5	＊	無効
# (⏭)	※4			＃	※4		＃	※4
◀ 再ダイヤル / ▶ 見てからダイヤル/電話帳	カーソル左右移動							
▲ / ▼	かな漢字変換	メール本文入力中、カーソル上下移動						
変換/音訓	かな漢字変換	無効（非表示）						
取消	カーソル上の１文字を消去							
文字切替	文字の種類の切り替え（「Ｌモード」利用時のみ絵文字に切り替えることができます。（☞6-8ページ））							

（※１）：半角カタカナは、電話帳の登録時や発信元名、「Ｌモード」で使えます。

（※２）：電話帳や発信元名の登録時は、半角の小文字は使えません。

（※３）：電話帳の登録時と発信元名登録時は、, : ! ? & / ( ) [ ] □（半角スペース）の順に表示されます。
メールの宛先や題名、本文入力中は、
˜, : ; ! ? & ¥ $ % + = | " ' ^ ( ) < > [ ] { } @./-_ □（半角スペース）の順に表示されます。

（※４）：Ｌモードの送信メールの本文入力時のみ ↵（改行）します。改行はすべて全角１文字になります。

（※５）：定型文が入力できます。（「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」「@pipopa.ne.jp」「www.」を選んだあと [決定] を押して入力します。）

ひらがな／漢字を入力する

「池田」と入力するときは次のように入力します。

操作のしかた

1 文字切替 で文字の種類［漢／かな］を選ぶ

（☞1-38ページ）

〈 発信元名 〉 ［漢/かな］
>
［ダイヤル］で文字入力，［取消］で
文字切替 | | | 取 消

●はじめ、電話帳に登録するときや発信元名を登録するときは、［漢/かな］になっています。（かなは一度に10文字まで入力できます。）

2 1あ を 2 回押す

〈 発信元名 〉 ［漢/かな］
>い
［ダイヤル］で文字入力，［取消］で
変 換 | 採 用 | 音 訓 | 取 消

●くり返して押すと
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ
の順に切り替わります。

3 2か を 4 回押す

〈 発信元名 〉 ［漢/かな］
>いけ
［ダイヤル］で文字入力，［取消］で
変 換 | 採 用 | 音 訓 | 取 消

4 4た を 1 回押す

〈 発信元名 〉 ［漢/かな］
>いけた
［ダイヤル］で文字入力，［取消］で
変 換 | 採 用 | 音 訓 | 取 消

5 ＊（トーン） を押す

〈 発信元名 〉 ［漢/かな］
>いけだ
［ダイヤル］で文字入力，［取消］で
変 換 | 採 用 | 音 訓 | 取 消

6 変 換 を押して「池田」を選ぶ

〈 発信元名 〉 ［漢/かな］
>池田
［ダイヤル］で文字入力，［取消］で
変 換 | 採 用 | 音 訓 | 取 消

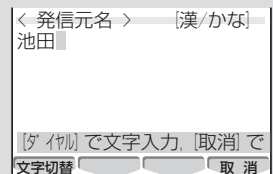
●ボタンを押すたびに切り替わります。
▲ または ▼ で選ぶこともできます。

7 採 用 を押す

〈 発信元名 〉 ［漢/かな］
池田
［ダイヤル］で文字入力，［取消］で
文字切替 | | | 取 消

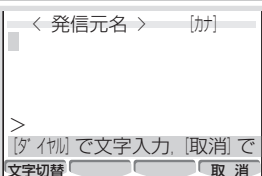
●文字を採用します。
●L/決定ボタンで採用することもできます。
●続けて文字を入力するときは手順1～7をくり返し操作します。

■ **ひらがなを入力するときは**

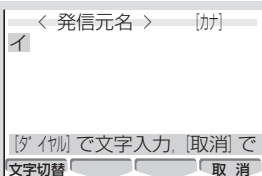
① 手順1～5の操作を行う
② 採 用 を押す

■ **入力したい漢字に変換できないときは**

音 訓 を押すと、入力したひらがなが区切りごとに漢字に変換されます。音訓の読みにしたがって変換されますので、変 換 では呼び出せない漢字に変換することもできます。
変換の区切りを変えたいときは、ひらがなを一度漢字に変換したあと、◀ または ▶ を押して変換する部分（オレンジ色のカーソルがかかっているところ）を変更します。

お知らせ

● 変換して10文字以上になった文字は 採 用 を押すまで10文字までしか表示されません。

カタカナ／英字／数字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。

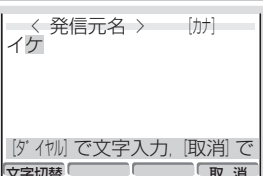
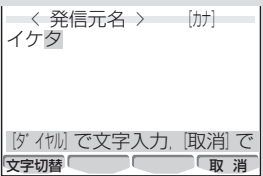
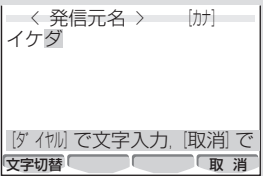
操作のしかた

1 文字切替 で文字の種類［カナ］を選ぶ

(☞1-38ページ)

●はじめ、電話帳に登録するときや発信元名を登録するときは、［漢/かな］になっています。

2 1 を 2 回押す

●くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ｧ→ｨ→ｩ→ｪ→ｫ
の順に切り替わります。

3 2 を 4 回押す

4 4 を 1 回押す

5 ＊ を押す

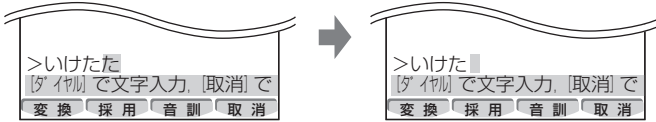
■ **カタカナ（半角）、英字（全角／半角）、数字（全角／半角）を入力するときは**

手順 1 で入力したい文字の種類を選んで、手順 2 以降の操作をしてください。

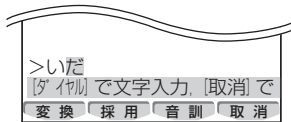
文字を修正する

■ **文字を消すには**

カーソルの１つ前が消えます。（カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。）

① 取消 を押す

■ **文字を入れ直すには**

①訂正したい文字を ◄ または ► で選ぶ

② 取消 を押して文字を消す

③ダイヤルボタンで正しい文字を入れる

文字の入力方法

■ **同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは**

（例）「あい」を入れる

① 1 を押す「あ」

② ► を押す

③ 1 を２回押す「い」

■ **濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは**

①濁点や半濁点をつけたい文字を入れる

② ＊ を押す（くり返し押すと（゛）と（゜）が切り替わります。）

■ **スペースを入力するときは**

► を必要な分だけ押します。１回押せば半角分のスペースが入ります。

（［漢/かな］モードのときは採用ボタンを押して、文字を採用してから ► を必要な分だけ押してください。）

■ **改行するときは（「Ｌモード」でメールの本文を作成中のみ）**

を押す

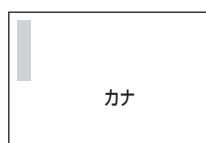
（［漢/かな］モードのときは 採用 を押して、文字を採用してから # を押してください。）

（［数］または半［数］モードのときは、# を押しても改行になりません。）

子機で文字を入力する

子機ではカナ/キャッチボタンで文字の種類を替えて
ダイヤルボタンで入力します。

文字の種類（入力モード）を選ぶ

1 カナ/キャッチボタンを押すたびに文字の種類が切り替わる

2 文字の種類を選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ（☞1-44ページ）

［カナ］モード
　ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表（☞1-44ページ）のカタカナが表示されます。

［英］モード
　ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表（☞1-44ページ）の英字が表示されます。

［表示なし］モード
　ダイヤルボタンに表示されている数字が入力できます。

文字入力一覧表

入力ボタン＼入力モード	カタカナ [ｶﾅ]	英字 [英]	数字 [表示なし]
1 ア	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	無効	1
2 カ ABC	ｶｷｸｹｺ	ABC abc	2
3 サ DEF	ｻｼｽｾｿ	DEF def	3
4 タ GHI	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	GHI ghi	4
5 ナ JKL	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL jkl	5
6 ハ MNO	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO mno	6
7 マ PQRS	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS pqrs	7
8 ヤ TUV	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	TUV tuv	8
9 ラ WXYZ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ wxyz	9
0 ワ 記号	ﾜ ｦ ﾝ [-] □(ｽﾍﾟｰｽ)	[-]□(ｽﾍﾟｰｽ) / [ ] : , . ! ( ) & ? @	0
トーン *	無効		*
#	無効		#
スピーカーホン（発信/ﾟﾞ）	濁点/半濁点	無効	
◁ / ▷	カーソル左右移動		
内線/クリア 保留	カーソル上の１文字を消去		
内線/クリア 保留 を2秒以上押す	全文字消去		
カナ/キャッチ	文字の種類の切り替え		

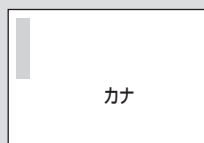
文字を入力する

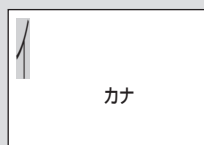
「イケダ」と入力するときは次のように入力します。

操作のしかた

通話ボタンを消灯した状態で操作します。ディスプレイは電話帳に登録するとき（☞2-19ページ）のものです。

1 カナ/キャッチ で文字の種類を選ぶ
（☞1-43ページ）

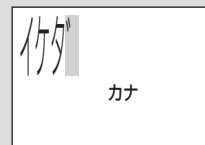
●はじめは「カナ入力モード」になっています。

2 1ア を2回押す

●くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
の順に切り替わります。

3 2カABC を4回押す

●同じボタンを使って入力する文字（例：「ア」と「エ」、「ワ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは1文字目を入力したあと、▶ を押して、カーソルを移動してから2文字目を入力します。

4 4タGHI を押す

●▶ を押してカーソルを移動して、文字を入力すると、その間にスペースが入ります。

5 スピーカーホン 発信/゛゜ を押す

6 機能 を押す

●文字入力が終了します。

文字を修正する

■ **文字を消すには**

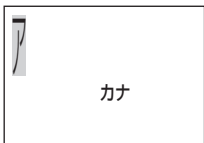
①訂正したい文字を ◀または▶ で選ぶ　② 内線/クリア 保留 を押す

■ **文字を入れ直すには**

①訂正したい文字を ◀または▶ で選ぶ　② 内線/クリア 保留 を押して文字を消す　③ダイヤルボタンで正しい文字を選んで入れる（文字の種類を替えるときは、カナ/キャッチ を押す）

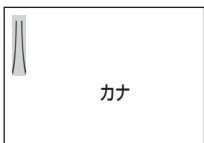
文字の入力方法

■ **同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは**

必ず ▶ を押してカーソルを移動させてから入力してください。
（例）「アイ」と入れる

① 1ア を押す「ア」　② ▶ を押す　③ 1ア を2回押す

■ **濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは**

濁点（゛）や半濁点（゜）をつけたい文字を入れたあと、次の操作を行います。

スピーカーホン 発信/゛゜ を押す

●くり返し押すと、（゛）と（゜）が切り替わります。

■ **スペースを入力するときは**

▶ を必要な分だけ押します。1回押せば1文字分のスペースが入ります。